

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【311】
2. 日 時：令和4年11月9日 13時30分～17時30分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、  
三浦主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、中村主任安全審査官、  
谷口技術参与

技術基盤グループ

小林技術研究調査官、大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他26名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他5名

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 課長 他1名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ヒアリング開始したいと思いますので、録音を始めます。
0:00:08	原子力規制庁の千明です。それでは島根原子力発電所 2 号機のセット購入のヒアリングを開始いたします。
0:00:16	本日の説明項目は、耐震計算書の波及的影響、
0:00:20	また、
0:00:21	基本法人の地下水位低下設備の設計方針と、耐震計算書ですね、網羅性既工認との手法の相違点、
0:00:32	等ですね、こちらの説明となります。
0:00:36	それでは本日の資料、
0:00:39	の説明と、あと進め方について、お願いいたします。
0:00:44	はい。中国電力の高松です。今日もよろしくお願ひします。まず、進め方なんですけども先ほどおっしゃっていただいた通り土木関係の波及的影響評価と、
0:00:55	地下水位低下設備の設計方針と、網羅性既工認等の試解析表の相違っていう算定もありまして、
0:01:02	波及的影響の方を、まず 20 分程度で、通しでご説明させていただいて、質疑応答と、これに構造物ありまして免震重要棟遮へい器と、
0:01:15	復水Tちょうど短空車併記でありますのでこれ 2 班に設備、通しでご説明させていただきたいと思います。質疑応答いただきましてその後、地下水位低下設備の設計方針これコメント回答になりますので、
0:01:29	関連するコメントを束ねたりはしますけど基本 1 文イトウ形式で進めさせていただきたいと思います。こちら広島から説明させていただきたいと思います。
0:01:40	それが終わりましたら、網羅性既工認との手法の相違点ということでこちら広島の方から基本的に 1 問 1 頭形式で進めさせていただきたいと思いますけどいかがでしょうか。
0:01:52	はい、規制庁チギラいつその進め方でお願ひします。
0:01:56	はい、ありがとうございますそれでは資料の裁判をさせていただきます。資料番号N-SにA-他-244 ということで、
0:02:07	適正化賞のリストですねこれ一番です。
0:02:11	続きましてN-Sに、一. 2A-014-09 ということで、こちら 2 番でお願ひします。
0:02:23	はい。続きましてN-S2-添 2、A-014-37 ということで、こちら 3 番でお願ひします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:38	はい。続きまして地下水位低下設備の方に行きましてNS2-他-A 208、A会員の01ということで回答整理表ですね、これ4番でお願いします。
0:02:56	はい。続きましてN-SにA-添 2A-001-15、甲斐の01ということでこちら5番でお願いします。
0:03:14	はい。続きましてN-SにA-ホ-023-11、甲斐の01ということで、こちら6番でお願いします。
0:03:30	はい。
0:03:31	続きまして機構にアース網羅的公認との手法の相違ということでNS2-他-130A会員の02。
0:03:42	ということでこちらの7番でお願いします。
0:03:48	はい。続きまして、N-Sに、-ホ-023-02、甲斐の03ということで、こちら8番でお願いします。
0:04:05	はい。続きましてNS2-他-094、簡易の02ということでこちら9番でお願いします。
0:04:18	はい。つきましてN-S2-添 2、A-001、A-02、A会員の02ということで、こちら10番でお願いします。
0:04:32	はい。続きましてN-Sに-補-023-16、甲斐の01ということでこちら11番でお願いします。
0:04:43	はい。本日のご説明以上11点でお願いします。
0:04:49	はい。資料の方確認できましたので、それでは、まず波及的影響の説明会の方からお願いいたします。
0:04:57	はい。それでは一番から3番の資料を用いましてサダタニの方から説明させます。
0:05:07	はい中国電力のサダタニです。私の方からは波及的影響の関係の図書No. 1から3についてご説明させていただきます。
0:05:17	まず資料ナンバー1の適正化についてなんですけども、本件図表の追加であったり、誤記訂正等がメインになりますんで今回、説明のね
0:05:28	方は省略させていただきたいと思います。
0:05:32	続きまして資料ナンバー2の免震重要棟遮へい器の耐震性についての経産省について説明させていただきます。1ページをお願いします。
0:05:44	本資料につきましては、はっきり景気を恐れのある下位クラス施設の耐震評価方針に基づきまして、免震重要棟遮へい器が上位クラス施設である緊急時対策所に対して、
0:05:59	はっきり的影響を及ぼさないことを説明するものです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:03	続きまして 2 ページをお願いします。
0:06:07	ズー2-1 にお示しの通り、原子炉 12 号機の東側に免震重要棟遮へい器は 1 しております。
0:06:17	続きまして図 2-2 にお示しの通り免震、
0:06:23	重要棟遮へい器の波及的影響範囲は、青のハッチングでお示しの通り壁から約 10 メーターの範囲が背景的影響の範囲になっております。
0:06:35	続きまして 3 ページをお願いします。
0:06:40	こちらに図 2-3 及び図 2-4 に、免震重要棟遮へい器の平面図と断面図をお示しております。
0:06:50	次のページの 4 ページのところに概略配筋図を図 2-5 としてお示しております。
0:06:58	こちらの図 2-4 のところに記載の鋼管ぐい感と記載しているものなんですけども、
0:07:07	すいません鋼管杭が正しい記載です。申し訳ございませんでした。
0:07:16	続きまして 5 ページをお願いします。
0:07:21	こちらでは、免震重要棟遮へい器の評価方針をお示しております。
0:07:27	その評価フローについて、次のページ 6 ページに記載があります 6 ページをお願いします。
0:07:36	こちらの免震上等遮へい器の耐震評価フローにつきましては、
0:07:41	地震応答解析 2 次元 FEM 解析を行いまして、曲げせん断評価を行うこととしております。
0:07:51	続きまして 7 ページをお願いします。
0:07:56	表 2-1 にお示しの通り免震重要棟遮へい器の評価項目、
0:08:01	を記載させていただいております。
0:08:04	評価方法としましては、遮へい器の圧縮縁コンクリートひずみ及びせん断力が許容限界以下であることを確認しております。
0:08:14	曲げ軸力については圧縮縁コンクリートひずみでせん断力については、せん断耐力で評価をしております。
0:08:26	続きまして、9 ページをお願いします。
0:08:32	こちらの耐震評価に係る評価対象断面ですけども、
0:08:36	評価対象断面は免震場と遮へい器の弱軸方向である。
0:08:41	遮へい器の直交断面を選定いたしました。
0:08:46	その評価対象断面位置図は、図 3-1。
0:08:51	その断面図につきましては図 3-2 に地質断面をお示しております。
0:08:58	続きまして 10 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:09:03	ここからは、解析方法についてお示しております。
0:09:08	ここ、3-2 解析方法の内容の 5 行目のところで、免震重要棟遮へい器周辺の地下水位が、免震重要棟遮へい器下端よりも低いことから、
0:09:21	この本設備の解析手法につきましては全応力解析としております。
0:09:27	事象と解析には解析コードTラップAを使用しております。
0:09:32	本解析に係る地盤物性のばらつきにつきましては、
0:09:37	遮へい機能周辺に、主として岩盤が分布していることから、この岩盤のAは、せん断弾性係数のばらつきについて影響を確認しております。
0:09:49	続きまして 11 ページお願いします。
0:09:53	構造部材の減衰定数につきましては、
0:09:57	粘性減衰で考慮しておりまして、レーリー減衰を解析モデル全体に与えております。
0:10:04	固有値解析結果に基づき設定した $\alpha$ $\beta$ は表 3-2 の通りになります。
0:10:11	続きまして 12 ページをお願いします。
0:10:15	地震応答解析の解析ケースの選定について記載しておりまして、
0:10:20	はい。解析ケース①、基本ケースを実施しまして、
0:10:26	①において曲げ軸力系の破壊及びせん断破壊の調査項目ごとに照査値が 0.5 以上となる調査項目に対して、最も厳しい地震動を用いまして表 3-1 に示す。
0:10:40	解析係数 0203、地盤のばらつきを考慮したケースを実施しております。
0:10:48	続きまして 13 ページをお願いします。
0:10:51	こちらでは荷重の組み合わせ荷重と荷重の組み合わせについて記載しております。
0:10:58	今回の解析で考慮する荷重の組み合わせは、表 3-4 の通りでございまして、固定荷重、積雪荷重、風荷重、地震荷重、
0:11:08	を組み合わせで評価しております。
0:11:13	続きまして、14 ページをお願いします。
0:11:16	こちらでは入力地震動についてご説明しておりまして、11 次元波動論による応答計算を、マイクロSHAKEにより行っております。
0:11:27	2 次元モデルの下端であるEL30 メーターにおける入力地震動を算定しております。その結果を、次ページからの 15 ページから 26 ページにお示しております。
0:11:46	続きまして 27 ページをお願いいたします。
0:11:52	27 ページから 30 ページにつきましては、解析モデルの内容についての、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:00	記載をさせていただきます。
0:12:02	この内容につきましては、記載の通りですので、内容の説明については省略させていただきます。
0:12:12	続きまして 31 ページをお願いいたします。
0:12:17	こちらでは、許容限界についてご説明させていただきます。
0:12:23	まず、曲げ軸力系の破壊に対する許容限界としましては、土木学会マニュアルに基づきまして、職員コンクリート限界ひずみの 1%を許容限界として設定しております。
0:12:37	せん断せん断破壊に対する許容限界につきましては同様に土木学会マニュアルに基づくせん断耐力としておりまして、
0:12:47	棒部材式もしくはディープビーム式のせん断耐力式で求まるせん断加力のうち、いずれか大きいほうとするというふうに記載しているんですけども、
0:12:58	今回の構造物につきましては、せん断スパン比、d分のが 3.5 以上となるので、すべて棒部材式での評価をしております。
0:13:13	続きまして、
0:13:17	36 ページをお願いいたします。
0:13:21	こちらが耐震評価結果をお示しているものでございまして、
0:13:27	表 4-1 にお示しているのが曲げ軸力系の破壊に対する最大照査値でございます。
0:13:34	こちらが許容限界以下であることを確認いたしました。で、せん断耐力についての
0:13:41	調査につきましては、次の 37 ページに、
0:13:45	評価結果を載せておりまして、こちらでも許容限界以下であることを確認いたしました。
0:13:57	表、
0:13:59	30 は、すいません、38 ページをお願いします。
0:14:03	38 ページでは技術力系の破壊に対する照査値が最も厳しくなるケースの圧縮縁コンクリートひずみの時刻歴は形。
0:14:12	と、その日最大ひずみの発生位置をお示しております。
0:14:19	続いて 39 ページをお願いします。
0:14:23	こちらの方では、せん断の照査値が最大となる。
0:14:28	時の断面力図を示しております。
0:14:32	こちら数値を記載している位置につきましては、せん断の照査値が最大となる断面での戦力の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:40	をお示しております。
0:14:45	資料No. 2 についての説明は以上になります。続いて、資料ナンバー3 についてご説明させていただきます。
0:14:54	資料ナンバー3 の 1 ページ目をお願いいたします。
0:14:59	こちら先ほどの資料と同様に、波及的影響に関するものでして複製長タンク遮へい機がABディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽に対して波及的影響を及ぼさないことを説明するものになります。
0:15:12	2 ページをお願いします。
0:15:16	続いて復水貯蔵タンク遮へい器の位置についてなんですけども、図 2-1 にお示しの通り、2 号原子炉の西側に位置しております。
0:15:29	続きまして 3 ページをお願いします。
0:15:33	復水貯蔵タンク遮へい器の平面図を図 2-2a 断面図を図 2-3 耐震補強箇所を図 2-4、概要かいぎん図を図 2-5。
0:15:43	こちら、次のページの 4 ページにお示しております。
0:15:49	こちらの復水貯蔵タンク遮へい器につきましては、耐震性を確保するために、耐震補強。
0:15:57	といたしまして、後施工せん断補強工法ポストヘッドバー工法、
0:16:03	以下、PIB工法と呼ばさせていただきますによる補強を行っております。
0:16:14	続きまして 6 ページをお願いします。
0:16:19	こちら、評価方針をお示しておりますので、
0:16:23	評価フローは、8 ページの図 2-6 にお示しております。
0:16:31	構造部材の健全性につきましては、3 章の地震応答解析により、られた水平方向及び鉛直方向の荷重を用いまして 3 次元構造解析により応答値を算定し、
0:16:45	曲げ軸力破壊、
0:16:47	及びせん断破壊に対する評価を行って、詳細応答値が許容限界を下回ることを確認しております。
0:16:55	なお、エースせん断破壊に対する補強として Ph. D. 候補を用いる場合には、構造部材に対して PHb 工法の適用条件、
0:17:06	こちらの応力状態が概ね弾性。
0:17:09	であることを満たしていることを確認しまして、PIB工法を採用しております。
0:17:16	続いて、7 ページをお願いします。
0:17:21	表 2-1 に
0:17:24	復水貯蔵タンク遮へい器の評価項目をお示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:29	評価対象部位としては遮へい器を選定しておりまして、許容限界としましては曲げ軸力が終局耐力で、せん断力については短期許容応力度としております。
0:17:44	A、B1B工法による、
0:17:48	補強を実施している箇所につきましては、
0:17:52	曲げ軸力に対する許容限界が、短期許容ホールド以下であることを確認しております。
0:18:04	続きまして 10 ページをお願いします。
0:18:09	こちらに地震時の荷重を算出する断面の位置図をお示しております。副性状タンク車の中心を通る断面、
0:18:19	を選定しております。
0:18:21	図 3-2 に、復水貯蔵タンク遮へい器の評価対象断面を押しお示しております。
0:18:31	続いて 12 ページをお願いします。
0:18:35	こちら解析来方法をし、記載しておりまして、
0:18:40	副生町タンクは施設周辺に地下水以深の液状化対象層が存在しないことから、解析手法は、全応力解析としております。
0:18:52	地震応答解析については解析コードのTラップを使用しております。
0:18:59	構造部材、
0:19:00	のモデル化と地盤物性のばらつきの考慮の仕方についてはこちら記載の通りになります。
0:19:09	へえ。
0:19:10	続いて 13 ページお願いします。
0:19:14	こちら減衰定数の話でしてこちら免震重要棟遮へい器と同じやり方で $\alpha$ $\beta$ を選定しておりますのでちょっと内容については説明を省略させていただきます。
0:19:25	続いて 14 ページをお願いします。
0:19:28	こちらに地震応答解析の解析ケースの選定方法についてお示しております。
0:19:35	こちらについてはすべての地震、基準地震動 $S_s$ に対して解析係数 1、基本ケースを実施しまして、
0:19:43	その中において遮へい機能、水平相対変位最大時刻における応答加速度分布を算定しました。で、
0:19:51	その中におきまして、遮へい器の上部、下部における応答加速度が最も大きくなる地震動を用いて、表 3-1、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:01	に示す解析ケース、2 及び 3、地盤のばらつきに関するものを実施いたしました。
0:20:10	その解析係数を表 3-3 にお示しております。
0:20:17	続きまして 15 ページをお願いいたします。
0:20:21	こちら荷重及び荷重の組み合わせについてでしてこちら免震重要棟遮へい機と同様でございますので説明については省略させていただきます。
0:20:30	続いて 16 ページをお願いします。
0:20:33	こちら入力地震動の算定についてでして、免震重要棟遮へい 1 個となるのは解析行動でして、こちらはSHAKEを用いております。
0:20:44	その後の結果については、17 ページから 28 ページにお示している通りでございます。
0:20:55	続きまして
0:20:58	29 ページをお願いします。
0:21:02	こちら 29 ページから 32 ページにつきましては、解析モデル等諸元をお示しております、
0:21:09	こちらについては、内容記載の通りでございますので説明については省略させていただきます。
0:21:19	続きまして、33 ページをお願いいたします。
0:21:26	こちらの、
0:21:27	解析ケース 1、
0:21:29	についてすべての基準地震動 $S_s$ に対する応答加速度分布を図、
0:21:35	次ページ以降の図 3-18 から図 3-29 に、お示しております。
0:21:42	また、その解析ケース 1 の中で、遮へい記帳部及び下部の応答加速度が最も大きくなる地震動における、
0:21:50	解析S2、3 の地盤ばらつき係数を、
0:21:54	の加速度応答分布図を図 3-30 から、図 3-33 にお示しております。
0:22:06	続きまして 50 ページをお願いいたします。
0:22:12	こちらは応力解析についてお示しております、複数以上タンク遮へい機能力解析としまして不正常タンク遮へい純要素でモデル化した。
0:22:24	3 次元静的FEM解析を実施しました。
0:22:28	社平均につきましては、
0:22:31	先ほどの庄野地震応答解析より、CSTタンカー複製長タンクの耐震性に最も影響を及ぼす地震動を対象に実施するものとして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:41	解析ケース①、S <sub>s</sub> -Dの毎分ープラスを対象といたしました。
0:22:48	こちらの応力解析に用いた解析コードは、4-2 解析弾い方法にお示しの通りN×NASTRANを使用しております。
0:23:01	続きまして 51 ページをお願いします。
0:23:03	こちらが応力解析で用いた荷重の組み合わせでして固定荷重、積雪荷重風荷重、地震荷重、
0:23:11	を採用させております。
0:23:16	で、
0:23:17	52 ページから 54 ページにつきましては、解析モデル及び諸元についてお示しております。
0:23:26	内容は記載の通りですので説明を省略させていただきます。
0:23:33	55 ページをお願いします。
0:23:36	こちらで許容限界についてお示しております。
0:23:41	複製上タンク遮へいの許容限界につきましては、コンクリート標準示方書に基づきまして、曲げについては終局耐力、せん断については短期許容応力度としております。
0:23:56	56 ページをお願いします。
0:23:59	こちらに芸術力の破壊に対する照査結果と、せん断破壊に対する調査結果を、
0:24:07	掲載しております。
0:24:10	どちらも許容限界以下であることを確認いたしました。
0:24:16	次ページ以降の 57 ページから、62 ページのところに、
0:24:22	実際発生しております断面力分布図、曲げモーメント、
0:24:27	と軸力せん断力をそれぞれお示しているところです。
0:24:33	で、最終ページの 63 ページのところに、最大の照査値が発生した箇所の位置図をお示しております。
0:24:41	こちらからの説明は以上になります。
0:24:46	はい、ありがとうございました。
0:24:48	それでは当間所長ごとにはですね、ちょっとこちらから確認をしていきたいというふうに思いますが、ちょっとその前に 2 点ほどちょっと確認させてください。
0:24:58	まず①の資料の適正箇所、箇所については、これは補正靱性の時点からの適正化という理解で大丈夫ですか。
0:25:10	中国電力のサダタニですご認識の通りでございます。はい、わかりました。で、2 点目が、今説明していただいた二つの図書については、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:22	補足説明資料はつけないということで、大丈夫ですか。
0:25:28	はい。中国電力の高松です。今回初回説明ということで申請の図書と、追加です、断面力分布とかで、を拡充しまして、
0:25:41	調査Gの説明拡充は行いましたんで、その中で説明はさせていただいたつもりなんですけど今回コメントとかいただいてですね、そういう詳細な説明が必要になったらそういったところも、手当していきたいと考えております。以上です。はい、わかりました。
0:25:56	それでは、まず②の資料、免震重要
0:26:00	棟の遮へい器、こちらについて確認する点ある方お願いいたします。
0:26:31	はい規制庁のタニグチです。
0:26:36	まず②、②の資料ですかね。
0:26:40	演習重要棟遮へい器の評価方法、評価のところですけど、
0:26:45	まずう面積、
0:26:49	今回の構造物の評価をと解析をしているんですけど、
0:26:54	建屋の建屋というか、この遮へい壁の
0:26:58	解析モデルの部分の記載が非常に、
0:27:02	記載がなくて、わからないところがあります。具体的に言うと、
0:27:08	3 ページ目のところにある免震重要棟遮へい壁、これは遮へい壁これは 80 センチとか 50 センチの、製壁があって、
0:27:20	その下に基礎上のものがある、基礎がずっとつなげ、それからその下に、
0:27:28	こう考えがあると、いうふうなイメージだと思いますけど。
0:27:31	これをどういう形に解析モデル化するのか、っていうことについての構築物についての説明がないんですけど。
0:27:40	どのように考えているんでしょうかその辺を教えてください。
0:27:44	はい。中国電力の高松です。すみません 27 ページをご覧くださいてもよろしいでしょうか。
0:27:56	はい。27 ページのですね 3 ポツ 5 ポツ 1 のところに解析モデルとありまして(3)に構造物のモデル化ということでお示しさせていただいてまして、
0:28:07	3、28 ページのそのモデルもお示ししてんですけど、構築物のモデル化については、地上部の遮へいキーワ非線形のはり要素を、または線形の
0:28:18	やはり及び線形のある要素ですね交換分については選挙はり要素でやりますということでちょっと説明はさせていただいております。言葉として

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	はわかるんですけど、それで今、特に基礎の部分も一切書いてないので、
0:28:34	要は壁のところは自然系であります。それから、基礎は線形であります。それも基礎も、例えば、1 の上限に設定を設けるのか設けないのか。それから、
0:28:47	放課後に選挙でやります。そういった話だと思うんですけど、
0:28:51	それを具体的に絵にかいてきっちり記載をしといていただかないと、
0:28:56	どういう解析モデルサッカって、結局 28 ページに絡めて書いてる、放射平均とか、
0:29:03	直線でパッと上がってるだけで、具体的にどういうふうに切ったのかもわからないし、モデル化した考え方が、ここに書いてある文章で書いてあるっていうのはわかるんですけど、
0:29:15	どういうふうに分けてどういうふうにしたんだっていうのをわかるように、きっちり書いていただきたいと思うんですけどいかがでしょうか。
0:29:24	はい。中国電力の高松です。ちょっと説明が足りないところはちょっと、次回拡充させていただきたいと思います。以上です。その辺ちょっとこの書類だけでは、今みたいのが全然わからないので、先ほど話が出て、
0:29:37	補足資料も作るって話でしたら、その中できっちり書いていただかないとわからないと思います。特に 28 ページのところについては、もう、構造物のところ全くわからないので、
0:29:50	何、どういうふうにしたのかは、全くとか伝わらないので、説明をきっちり書いてください。
0:29:58	はい。構造物のモデル化について丁寧に記載を拡充させていただきたいと思います。以上です。はい。よろしく願います。
0:30:06	それから、今回のモデルにあたってですね、モデル化にあたって、
0:30:12	その併記はこういうふうに評価しますと、評価方針が書いてあるんですけど、
0:30:19	鋼管ぐいはどういうふうにされる予定ですか。
0:30:25	はい。中国電力の高松です。衛藤鋼管杭につきましてもですねこのように 28 ページにありますように線形の梁要素でモデル化しまして、
0:30:36	地盤連成系の解析で同様に断面力を出してですね、評価はしております、その構造成立性の確認はさせていただいております。で、ちょっとその辺りがですね、今回のこの申請図書上だとですね地上の液体部分だけとが見えるような形になっておりますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:30:52	先ほどご指摘いただいた趣旨も踏まえましてですね、説明といたしますか、そのくい部分の評価であったりとか、状況ですね、説明拡充させていただきたいと思います。
0:31:04	以上です。はい。お願いしますそれ、それは具体的には7ページのところなんかにも、免震重要棟の遮へい壁遮へい器の評価項目って書いてあると思うんですけど。
0:31:15	ここに当然、交換分も出てくると思いますので、鋼管杭を書いていたいて評価の方法が形を限界きっちり書いてください。
0:31:27	それから、先ほどのモデル化の話で出てたところではあるんですけど、
0:31:34	基礎の中に、鋼管杭が若干組み込んだ状態で記載、実態はあると思うんですけどその辺も、モデル化の時にどう扱ったか、きっちり書いてください。
0:31:47	いかがでしょうか。
0:31:50	はい。鋼管杭につきましてはですね、道路供試表彰の基準に基づきまして設計しております、風致遮へい器のフーチングの方へのですね、
0:32:02	まみれといたしますか、挿入長であったりとかその辺は、準拠した設計をしておりますので、その辺りはきちんとご説明できるようにします。以上です。そうですね。実際の施工の話とそれからモデル化でどうするかってことをきっちり分けて書いてください。
0:32:32	そうです。はい。
0:32:38	本当ですね改めて確認、中国電力のタカマツですアノン。
0:32:46	やっています。
0:32:47	改めてご説明させていただきます。基本的には郷家Ⅱの構造で設計施工しておりますので、それでモデル化していると考えているんですけど、その辺りもまた考え、確認しまして、改めてご説明させていただきます。
0:33:04	はい。
0:33:06	はい、どうぞよろしく申し上げます。それから、次に27ページ目のところ、
0:33:13	この部分に一番下のところにジョイント要素の話が書いてありますけど、
0:33:19	地震時の地盤と構造物の接合面における滑りを、剥離接触を考慮するためにジョイント要素を入れてるって書いてあるんですけど。
0:33:27	ジョイント要素はどこに入れてるのか、具体的に場所と、どう考えてるのかってことをきっちり書いていただきたいと思いますと思うんですけど、これも一切読めないの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:37	記載を考えてください。
0:33:43	はい。中国電力の高松です基本的に 28 ページのですね岩盤に根入れしております地中の鋼管杭ですねこちらの側方にジョイント要素設定しておりますので、
0:33:53	そのあたりまた見えるようにしてご説明したいと思います。拡大して帰ってくださいね。構築物は構築物できっちり書く、それから地盤は地盤でまた書くって形にして記載をしてください。はい、承知しました今日、先ほどのご指摘いただいた許容限界のところであつたりとか 2728 ページのモデル化のところ、
0:34:13	このあたり補足説明という形でですね、しっかり説明できるようにします。以上です。よろしくお願ひします。それで今のモデルの中に、
0:34:23	地下水レベルとの関係もわかるようにしたいんですけど、地下水は結局 30 メートル以下以下にあるっていうのがスタンスだと思いますので、
0:34:33	それならここにそういうふうに記載をしてください。
0:34:41	はい。中国電力の高松です。承知しました。1 月についても説明できるように追記するようにいたします。以上です。はい。よろしくお願ひします。
0:34:50	それから、38 ページと 39 ページ目。
0:34:54	ここうについても結局最大値を書いてるんだと思いますけど、
0:35:01	具体的にどこどこの市で最大値になってるのか全くわかりません。これはさっきのモデル化の話も一緒に、
0:35:09	どういうモデル化をしててどの部分にどういう応力発生してるのかっていうのがわからないと、これがどうしてこうなったのかって妥当性の確認ができないので、
0:35:21	きっちりモデルとあわせて、どこの位置になって発生してるのかってことわかるように、機器、
0:35:29	変えてください。そうじゃないと、
0:35:33	法縁風に頭が不連続の部分とかが出てる可能性も当然あるので、さっき言った基礎の部分とか、そういうところでも変わってると思いますので、
0:35:45	その辺をきっちり書いてください。
0:35:53	はい。中国電力の高松です。江藤さん 18 ページの被災、圧縮ひずみ最大が出てる箇所の構造、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	図上での場所がどこに当たるのかとかですね、39 ページのせん断もしかりだと思んですけど、これが構造上で言うところのどこなのかっていうところが、は、説明が足りないっていう趣旨だと思います。
0:36:19	そのあたりをちょっと、次またわかるように、ご説明したいと思います。今、いえるところで言いますと、実態としましてはですね、三瓶G、
0:36:30	方をご覧くださいと思いますけど、
0:36:35	この遮へい機がですね、下部のGL上のちょっと幅の広いフーチング部分からですね、上に上がるにつれてですね、中間のところでは1回
0:36:47	部材厚が薄くなる、ところがございますんで、この中圧縮ひずみが421マイクロっていうふうな形で出てるのがまさにこの部材が1回、スポンのところにとりまして、
0:37:00	せん断のところでは39 ページのせん断のところですねこちらで-170 というふうに出ておりますけどこちらが、下部のフーチングの上部の辺りで、
0:37:11	発生する最大線、照査値が最大となるせん断力になりますので、そのあたりをちょっとわかるように次回ご説明したいと思います。以上です。よろしくお願いします。それで
0:37:23	先ほども交換後もやってますって話だったら当然今回交換後にも出てくると思っていますので、その辺も記載を考えてください。
0:37:32	よろしくお願いします。
0:37:33	はい。中国電力の高松です。承知しました。はい。以上です。
0:37:49	規制庁のハットリです私から何点か確認します。私のちょっと確認は補足を作るか作らないかによって大分変わるんですけど、
0:37:57	補足をつけ、
0:38:01	そういうつもりでちょっと聞いていただければと思うんですがまず4ページをお願いします。
0:38:14	結局ここをフーチングとフーチングっていうのかな、鋼管杭は5欠ですということで、一步でも、鋼管杭も含めて一本棒でモデル化してるってことですよね。
0:38:27	であれバー。
0:38:28	この添付2載せる可能性ないかは別にして、9イトウの鉄筋を入れておかないと、ここが5結だっていることは、多分わからないと思います。
0:38:40	結合方法Bとか奈良天羽鴻上が、
0:38:43	刀禰谷津アノン、フーチングの3分の2ぐらいまで根入れされてるので、それはそれでいいんですけど、多分結合方法なので、鉄筋がきちっと定着。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:53	されてないと纏纏にならないので、そういうところもちゃんと示した上で、ここは纏纏なのでそのモデル化は共有節点で一本棒ですよというようなことがわかるようにしていただきたいと思いますし、
0:39:08	これは補足を作るのであれば補足でいいかなと思っていますけれども、そこら辺はどこまで添付に書くのか補足に書くのかはちょっと考えていただいて、示していただきたいと思います。
0:39:21	あと、
0:39:24	28 ページ。
0:39:28	ちょっと確認なんですけど、
0:39:30	いろいろな考え方があると思うんですがこれは事実確認として聞いていただければと思うんですが、
0:39:35	今夏遮へい機は、断面変換して、
0:39:40	してるってことですよ。500 から 800 になってるって。
0:39:44	一般的にモデル化する時 2 園、
0:39:48	断面変化をしても、意外とこうクランクを入れないようなモデル化をすることが結構あると思うんですけど、今回こうクランクを入れたようなモデル化をすることの、
0:39:59	着眼点というか、どうしてこういうモデル化にしたのかなっていうのがわかればちょっと教えていただき、説明をいただきたいんですがいかがですか。
0:40:17	はい。中国電力の高松です。実際にこちらのですね、クランクを設けるとところに構造の部材変化部がありますので、
0:40:27	より正確にモデル化するというので、このクランクを入れたものでは、梁モデルにしています。以上です。
0:40:34	規制庁の服部です。ちょっと確認したかったのは、これ駄目変化がある時わあ、
0:40:41	色ひずみで評価するときは、これ断面変化の時にとところに大きなひずみが出る。
0:40:48	実際出るので、
0:40:50	それをきちんと模擬するためにはこういうクランクを入れなければいけないのかって言うのかなとちょっと思ったりもしつつ、あんまりこういうクランクでモデル化したようなのって見たことないので、
0:41:01	そこら辺何かいろいろと考えて、考え方があって、こういうモデル化にしたのであれば、その考え方を聞きたかったんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:10	より精緻にということであれば、それはそれで、そうかなあと思いつつ、わかりましたということにしておきます。
0:41:19	最後になりますが、
0:41:20	37 ページをお願いします。
0:41:24	これ前回
0:41:25	次にある復水タンクの遮へい器の時も言ったんですけど、
0:41:29	基本的に断面変化がある場合は、
0:41:35	断面変換のところで調査するっていうのは、
0:41:39	普通やるんですよねそれがどっちが厳しいか厳しくないかは別にして、両方とも見るっていうのが普通ですんで、これテンプレなので、確かにこう、どっちが大きいかっていうのを確認した上で、
0:41:51	800の方が厳しいということであれば、800オノせるってのもいいんですけど、もし補足を作るのであれば、
0:41:57	基準 500 のところと 800 のところ、それぞれについて評価をしていただいて、断面変化が起こっていても断面、断面を落としをしていても、
0:42:10	問題ないんだよと。今回ね、小冊子が非常に小さいので、オーバーすることはないと思うんですが、それ一般的にそういうふうに、
0:42:21	普通はするので、していただければなと思いますそれはあくまでも補足をつくれれば、ということで結構です。
0:42:27	ちなみに今回先ほど説明があったように、
0:42:30	500 のところと 800 のところを比較した上で、今 800 の方が厳しいので、39 ページの断面図も 800 のところの断面図を書いているし、
0:42:40	37 ページの主査も 800 のところでやってるという理解でよろしいんですよ。どうぞ。
0:42:56	はい。ご指摘の趣旨は中国電力の高松ですご指摘の趣旨わかりました。我々今、この後、部材厚 500 のところも、800 の下段のところも含めて、
0:43:08	全体を見て一番照査値の厳しいところっていう形で最後の取りまとめをしておりますので、こういった先ほど羽鳥さんがおっしゃった 500800 の断面変化がある前後でっていうところが、
0:43:21	その詳細に説明が足りてないっていうところだと思います。ちょっと補足説明作るか作らないかっていうところは基本的に作って御説明しないといけないのかなその辺りが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:33	さっきのモデルであったり許容限界であったりとか、しっかり説明する観点で言えば、この資料だけではなかなか説明できないのかなって今考えて考えましたので、
0:43:43	その中でですね、このカーブであったり上部であったり、日々厳しいところですね、その辺をご理解いただけるようにですねしっかり説明していきたいと思います。以上です。
0:43:56	規制庁の服部ですはい。わかりました。
0:43:59	もし補足、ちょっとついでなんですけど、補足を作るのであればですね例えば 28 ページ、ここにモデル図があるんですけども先ほどモデル図のことで、もう少し詳細にという話があって、
0:44:11	それは添付の方でということだと思んですけども、
0:44:14	前回取水口かな、取水管、そこら辺で少し
0:44:21	地盤物性値の話が少し出たと思うんですが、もし補足を作るのであればですねこの速度層に相当する地盤物性値がどうだとか、そこら辺の地盤の支持性能との対応がつくような形でね、
0:44:34	やっていただきたいと思いますし、もう少し実際添付であればこれでいいのかなと思いますし、そこら辺ちょっと含めて、もし補足を作るのであればという前提ですけども、そういうところも拡充していただきたいと思いますし、
0:44:48	思います。あと最後 39 ページでちょっとこれだけ 1 点確認です。
0:44:52	これ例えば、
0:44:54	せん断力のマイナス 170 っていうのが、この部材の真ん中辺に来てるんですけど、これ、
0:45:00	絵だけ見ると、一番下ですよ。170 本当はそうですよね。ちょっと最大値のところに数値を書いているって先ほど、
0:45:10	言ったので、それはちょっと正確ではないかなと思っていて、それは見ればわかるんですけど、そこら辺はちょっと事実確認として確認だけさせていただきました。
0:45:22	照査値の最大になってる場所でのせん断力を書いてる、そういうことです。なので
0:45:32	この絵でお示してます通りせん断力の最大自体は、フーチングの下端で出てるっていうことになります。
0:45:41	2、
0:45:45	そうですね。はい。はい。中国電力の高松ですちょっとその辺りも先ほど冒頭で谷口さんにご指摘、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:54	いただいた趣旨の通りだと思うんですけど。
0:45:58	うん。
0:46:05	規制庁のハツリです。はいわかりました。す。もしそうであればこの170の横に行くこの下に鋼管杭って点線はあるじゃないですか。そしたらそこにフーチングとか何か書いていただければ、よりわかりやすかったかと。
0:46:19	と思います。ちょっとすいません私もそこら辺、よく読み、読み取れなかったんですが、もし工夫できるんなら、工夫していただければと思いますし、補足のほうで書くのであればそれはそれで結構ですのでよろしくお願いします。私からは以上です。はい。
0:46:33	中国電力の高松です。冒頭谷口さんからいただいたコメントと同様かと思うんですけど、こういったせん断分布図もですね、構造図と対比してどこの場所で最大、
0:46:46	照査値が出るオガタせん断を発生力がどこで一番大きく出てるのかとかその辺がわかるように見える、見える化工夫をしたいと思います。ちなみにて申しますと、
0:46:57	江藤さん17ページにですね剪断の照査値一覧表が出ておまして、
0:47:05	Ss-N湾のプラプラが一番照査値としておっきい0.24っていう値が出ておまして、177というのが、詳細をせん断力っていうふうに、
0:47:19	なっておりますけど、この177を算定した根拠が、この107、39ページで言うところの170になっておまして、
0:47:29	構造解析係数を掛けて、177という、発生の詳細オノせん断力になっているという流れでございます。以上です。
0:47:39	規制庁の服部ですすいませんちょっともう1回お願いします。最後、ちょっとわからなかった177が170になるってことですか。そうですね、えっとですね、137ページのですね、
0:47:51	はい。中期枠下の注記を見ていただきたいんですけど。
0:47:57	はい。この詳細をせん断力が発生せん断力部員に構造解析係数 $\gamma_a$ を掛けたものということにしておまして、177というのが、この比39ページで言うところの172ですね。
0:48:10	構造解析係数を掛けまして、177が算定されているということになります。以上です。規制庁の服部です1.2をかけてるってということで、172.2を掛けると177になりますよということなんですね。
0:48:25	1.05でしたっけ。そうですね構造解析件数って1.05でしたっけ構造件数が1.2か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:35	その通りでございます。はい。
0:48:38	はい。
0:48:39	その辺りも補足の中でご説明するようにさせていただきます。以上です。規制庁の服部です。
0:48:52	はい。はい。はい。すいません中国電力の高松です。江崎さんからご指摘いただいた通りでして厳密にですね、この転倒に対する調査対象部位といいますかその転倒モードを考えたときにですね、
0:49:09	地上部のRC部材だけじゃなしにですねやっぱりご指摘いただいております特に連結部ですね値、地上のフーチングと杭の連結部のところというのは評価すべき弱部になりますので、
0:49:22	もちろん評価はしております、ここも評価対象部位ということで、抽出してご説明すべきだったかなっていうのは、思いますので、この辺り今後きちっとお示しさせていただきたいと思います。以上です。
0:49:54	その、
0:50:17	はい。中国電力の高松ですご指摘いただいたしよくわかりましたので、その辺りもご説明するようにします。以上です。
0:50:27	規制庁の服部ですはい。あと、ちょっとちなみになんですけど、
0:50:30	39 ページのやつはNRのプラプラになってるんですけど、これちょっと、
0:50:37	37 ページ見る等SDのプラマイの方が、プラマイじゃねえか、マイプランープラスの方が少し大きくなってるので、だからちょっと見た目的にはあんまりかっこよくないかなと思いますけど、ちょっとそこら辺は、
0:50:52	数字のあれですかね、四捨五入の関係なんですかね。
0:50:56	もう見た感じだとSDのマイナーぷらーCriticalかなあ。協力の方でやればただの、
0:51:04	有効だ面積ではあるだけなんで、
0:51:07	とも思ったりもしつつ、そこら辺も含めてちょっともう1回見ていただければと思いますのでよろしくお願ひします私から以上です。はい。はい。中国電力の高松です。承知しました。
0:51:19	規制庁の三浦ですけど、先ほどちょっとモデルの軸芯のずれの話だったんですけど、一般的にはもう1本出したことが多いんですが、こういう断面形がね、何か変わってる時に少し受振ずらす時なんですけど、
0:51:33	これ鉛直の状況で入れてるんで、必ず軸をずらした方が大きくなります 応答が、
0:51:38	というようなことを書かれたらどうでしょうか。
0:51:42	あ、中国電力の高松です承知しましたありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:59	はい、規制庁チギラです。
0:52:10	すいませんちょっと私から。
0:52:15	今の時空のアノモデルに関連するんですけど、38 ページのところ
0:52:23	このスピンコンクリートひずみの時刻歴があつてその人に
0:52:28	最大値が発生する部位が出てるんですけど、これっていうのは、あれで すかね、併設ループはいずれもこの位置で出てきてるっていうことで大 丈夫ですか。
0:52:44	はい。中国電力の高松ですすみませんそこまでまだ分析ができていな いっていう場所までの値としての確認はできてるんですけど、場所まで の分析ができておりますのでその辺りちょっと次回わかるように、
0:52:57	ご説明したいと思います。はい。わかりました。ちょっと確認していただ いて特に
0:53:03	記載とかっていう話じゃなくてちょっと確認だけしておいていただけれ ば、結構です。はい。
0:53:09	私からは以上です。他。はい。中国電力高松です。承知しましょう。
0:53:16	はい。規制庁の仲村です。私からちょっと確認というか考え方を教えて もらいたいんですけども、資料 2 でいくと、3 ページとか 9 ページをちょっ と見ながらなんですけども、
0:53:29	9 ページのところ見ると今回のこの遮へい器の下に鋼管杭があつて、
0:53:37	マンメイドロックMMRとか岩盤のところに入ってるっていう感じになつて て、
0:53:45	3 ページの方も、その絵があるんですけども、
0:53:50	これは、
0:53:51	考え方としては、鋼管杭を介して、
0:53:57	岩盤とか、そういうところに支持されるっていうことなんですか。そういう ことであれば、ちょっと細かいところなんですけども 3 ページの文章のと ころですね、上の方でまたっていう行なんですけども、
0:54:11	十分な支持性能を有する岩盤に設置されているっていうふうにかかれ てはいるんですけど正確に言うと、
0:54:19	鋼管杭を介してとか、或いは岩盤とかMMRっていうのも書いたらいいと 思うんですけど、考え方に応じてちょっと記載の適正化ということなんで すけど、ちょっと考え方を含めて教えてもらえますか。
0:54:35	はい。中国電力の高松です。ご指摘いただきました通り、この地上部の 液体につきましては、鋼管杭を介しましてこの 3 ページで言うところのφ 1200 のがん、交換後ですねこちらを介しまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:52	その 3 ページの図であります通り、岩盤の中にアノね入れさして支持させているというのが事実でございます。
0:55:02	その辺りも今 3 ページの記載の文章の中にですね、適正化拡充をさせていただいていきたいと思えます。以上です。
0:55:11	はい。よろしく申し上げます。ちょっとそれとあわせて 3 ページの下の図のところ、
0:55:18	後ろの方のページにいくと 9 ページとか行くとわかるんだけどその MMRとか、こう頑張るとか、なんかちょっとそういうのを入れといてもらった方が理解しやすいかなあと思いました。
0:55:29	それが 1 点で、もう 1 点は、資料でいうと、
0:55:34	10 ページになりますが、
0:55:38	今回ですね地盤物性のばらつきのところで記載されててですね、ちょっと前回の時とかとの話なんですけども、今今回の遮へい器のところでは、この地盤延ばせ
0:55:54	物性のばらつきが、岩盤の方をばらつきを見て、埋め戻し度の方は見てないっていうふうになってますんで、
0:56:04	選手春日ですね、逆Tの時っていうのはこれ逆になってたんですよ。
0:56:10	で、やっぱりちょっとそうなって、前回の逆Tのときだけ聞いてると説明はされて理解しましたというような言い方はしたんですけども、今回、逆になってるっていうところでいうとある意味一貫性分、
0:56:25	あんまり見られないなっていうふうに取りれるんで、何でこうなってるかっていうのはちょっと他の、今回の遮へい機以外にも含めてですね、どういいう考え方でやってるかっていうのをちょっと、
0:56:38	ちょっとこう、一貫性を持った説明っていうのをしてもらいたいと思えますけど、いかがでしょうか。
0:56:47	中国電力志水です。一貫性という意味でいくと要は結構周辺の様子が岩盤であるとか埋戻し材であることによつて当然考慮すべきばらつきも変わってきますのでそういう意味では一貫性はあると我々考えておりますけど、
0:57:03	前のご指摘の時にじゃあ何でここで岩盤ばらつかせるかというのを前回戻しの時は記載させていただいておりますのでちょっとこの資料まだそこまで反映できておりませんので、何でカンバラつかせるのかというあたりをですね、
0:57:15	丁寧に記載させていただければと思えます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:19	はい。そうですね。前回の時は、埋め戻しとか周囲にあるとかですねそういうところがあったんでそういうところも含めてですね、しっかり記載して、納得いくか。
0:58:01	中国電力伏見です。それはあれですか岩盤茂原メイド元指導も一括全部ばらつかしたらいいんじゃないかということですか。
0:58:19	多分ね設計の連中として考えていて特に床応答なんかの観点行ったら全部プラス。
0:58:25	でそのプラスマイナスを組み合わせまで考えるんですかって話。
0:58:29	構造部地盤の副総理の中でのインピーダンスの増幅を考えてそれはもう不可能に近いんで、
0:58:36	基本的に言ったらプラスだとプラスんな場合に、マイナスとマイナスすべきだとは思いますが。
0:58:42	その方があすべきだというよりはした方が、
0:58:46	わかりやすいし簡単だし、説明はしやすいんじゃないかということだけでただ、
0:58:52	地中構造物の場合と、こういう言葉も出てきてないし一条構想出てきてないしシミズさんとしてはだから、
0:59:01	いわゆる使用、
0:59:04	ほぼこれは地上子ボツに近いので、岩盤に設置される状況にかなり近いのでしているという話なんだけど、じゃあ、
0:59:13	これを根井地盤の方ためC-にしても、多分変わらないってことを確認してくれっていう話が出てきたっておかしくない話なんで、これ波及的な影響なんで、
0:59:24	これだけ今日限界共闘性開いてれば、
0:59:28	そこまで床応答とかそういった話じゃないかそこまでは厳密性を求める。
0:59:34	話として私は考えていないけども、
0:59:37	やっぱりその一貫した説明って今ナカムラ出たけど、
0:59:41	一番初めに、設計方針としてこういうようなばらつかせ方します構造物として決めてましたかって話なんだよねと、説明してましたかって話だよ。
0:59:51	それがないと、一番いけないのは、
0:59:54	その設計者が勝手に判断してこういうもんを作ってくに出して駄目だということを僕は言いたい。
1:00:00	基本的に管理してあんねアビルさんはちゃんと管理してんでしょ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:05	建築建物に関して、だから土木だったら土木で、
1:00:11	一貫した方針を作った上で、
1:00:15	やっていてそれは、石津さんが判断したからって個人の判断したからってというのが説明にならないんで、
1:00:21	言わしていただくのも説教になっちゃうけどさ。
1:00:24	だから、社として、どのような方針で、土木としてはやっているんだっていうことをしっかりは、
1:00:31	作らないと駄目だよ。は、設計に走る前に、
1:00:35	当然こういった
1:00:38	業務ってて合成って、東洋時もね他社でも言わせていただいたんだけどどうしても1社だけで賄う設計にはならないから、
1:00:48	会社の設計の考え方って、各社それぞれ、
1:00:53	全く一緒ではないから、またその中で行ったときに、設計者はまた個人になっちゃうんで、その個人が、
1:01:01	良いと思っていること。
1:01:03	ていうと、全部変わってきてしまう可能性も否定できないですよ。そういったところを管理していただかないと、我々としてもこういったものを、は、
1:01:13	審査の判断に使うときに、こっちはこっちこっちはいい、あっちっていう形でいうと、いいとこどりにしか聞こえなくなっちゃうから我々としても、適合性を判断するのに来る非常に難しくなるんですよ。
1:01:27	なので、こういったことはちゃんと、今回に関してはこれはちゃんと説明いただく必要があると思いますけど、
1:01:33	全般的にそういうところをちょっとどう、最近見受けられるんで建築はある程度一貫性があるけど、土木はちょっとその辺の一貫性がちょっとなくて、
1:01:42	何か1個1個の施設施設の設計の説明が、何か1個1個違う、個人商店の説明のような話しか聞こえないので、これは注意していただきたいと思います以上です。
1:01:58	中国電力清水ですおっしゃることよくわかりました複数の構造物があるのもあってちょっとこんなことになってるところもありますのでまず、そのあたりですね当然、所の設置の状況も違いますし、
1:02:13	設置されとる基礎の時地盤の状況も変わってくるということもありますので、規制庁さん側にですねそういう判断をゆだねなくてもいいというような考え方をですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:23	整理したいと思います。以上です。
1:02:28	全部がプラスマイナスにシフトすべきっていうのは、説明が書簡単だからと言っているだけの話なのでそうしなきゃいけないということではなくて、
1:02:38	基本的に今これやっていることが中国電力として、一つの
1:02:43	設計体系として、全部す、東郷取れてるっていうことを説明することと、こういったモデル。
1:02:51	化をすることが妥当だということ。
1:02:53	ということを説明する必要があると思います。
1:02:56	で、例えばこれが、
1:02:59	1に関して一したとしても影響ないんだっていうことを確認取ってます。
1:03:08	確認取らずに決めてます。
1:03:15	はい。中国電力の高松です。結論から申しますとこの構造物につきましては梅本シードまで、一緒にばらつかせた評価結果照査値、
1:03:29	こう思っているわけではございません。また、なのでそういった確認はまだできてないというのが実態でございます。そういうふうになだから基本的に、
1:03:40	その代表、施設福祉施設全体としてっていうか、発電所全体としてどういった場合は、影響あってないとか、判断基準。
1:03:50	持ってるんであればいいんですけど、
1:03:52	ないとなると我々も判断できないですよ、これでいいって。
1:03:57	試しにちゃんと
1:03:59	確認してくださいって言うしかないの、はっきり高高波及影響っていうことでこれだけ余裕をもってし親切なんで、
1:04:07	忍びないですけど、これが他にもこういったような話があるのかなのか。
1:04:14	いわゆる岩盤の方をばらつかせない。
1:04:16	パターン。
1:04:18	で、モスと逆にばらつくな、ばらつかせないパターンそれぞれって、
1:04:24	この新生物、土木の新設物のところで、こういった区分けになっていて、こういったけすそ数量というか、施設があるのか。
1:04:35	見たときにそれって妥当といえるのかどうか、その辺をちゃんとちょっと一度整理して説明いただけませんか。
1:04:45	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。今江崎さんおっしゃられたゴム通り、我々としては今

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:54	構造物に対して影響の大きいものをばらつかせるという考え方で、説明はしてるんですけどちょっと一貫、きちんと整理したものでご説明をしておりますませんでしたので、各構造物どういった考え方でやっているのかというところと大きな考え方のところを整理いたしまして、
1:05:09	ご説明させていただきたいと思います。以上でございます。で、基本的にこれって、多分、
1:05:15	うん、地盤の応答に、
1:05:18	関係してくるので、ケースバイケースだと思うんですね。
1:05:21	特に
1:05:23	島根特有っていうことも、今、地盤が島根特有の地盤使っているんで、それは何らしか、
1:05:31	ちゃんと定量的なもので、具体的な説明ができるように、全部していただけますか。
1:05:39	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:05:42	今おっしゃられた通り、当社の場合埋戻度液状化させてるような、
1:05:47	幅広い構造物がある場合の影響と、直接岩盤に今回のような構造物として接していてあまり埋め戻し度とその層厚が、
1:05:57	薄いといったそういったものも、思っ判断しておりますけれども定量的にですね、
1:06:02	ちょっとお示しをして影響の有無をもって判断しているところをご説明させていただきたいと思います。以上です。
1:06:20	はい。規制庁木田です。②の資料について他に確認する点ある方。
1:06:35	はい、規制庁オオハシです。
1:06:37	資料の 8 ページなんですけど、
1:06:40	ここに適用規格基準っていうのが 8 ページにありまして、
1:06:44	そこで条約 4601。
1:06:47	2008 と、約 4601-2008。
1:06:51	これはこの資料の中でどこで使われてるかっていうのを教えてください。このコメントはですね。
1:06:57	この 2008 年度版は、原子力安全保安院も規制庁もエンドースしてない。
1:07:03	一方土木学会マニュアルについては、
1:07:06	過去の審査の中で、
1:07:09	その適用性について資料が、その当時の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:14	電力会社から出されている。そういうことから聞いてます。お願いします。
1:07:25	はい。中国電力の高松です。すいませんこの構造物のですね耐力評価につきましてはですね基本、
1:07:35	下から2番目のポチのですね、屋外重要土木構造物のマニュアルで評価しておりますので、ちょっとこの下から三つ目四つ目の
1:07:47	当技術指針と技術規程ですね、これ
1:07:50	主に評価で使ってるものではないのかもしれませんんですけどちょっとその辺りちょっと改めて確認させていただきまして、ご説明させてください。
1:08:05	よ。
1:08:08	うん。
1:08:10	はい。
1:08:24	はい、中国電力の高松ですちょっと改めてこの
1:08:30	下から三つ目四つ目のやつですね、確認しまして、基本は使ってなかったら記載を取決ということで、
1:08:38	はい。
1:08:40	はい。
1:08:43	はい。中国電力の高松です。承知しました。
1:08:58	それとして、
1:09:02	はい。お願いします。あと規制庁の大橋ですもう1個質問なんですけど、
1:09:07	例えば11ページに減衰定数の説明があるんですけども、
1:09:13	これ一ですね、今回、
1:09:15	逐次線形解析非線形解析にしまう可能性あるという解析をやってるために、
1:09:24	こういうレーリー減衰をすべての
1:09:27	要素に対して一律かけるっていう、そういうことになってしまってると思うんですけど、一方ですね線形解析やれば、例えばコンクリートだったら5%入れるだと、5%入れるだとか、
1:09:41	がんだったら3%入れるとか、今まで慣例的2使ってる数gですんなりいくところが、
1:09:49	こういうちょっと普通、
1:09:51	使いにくいような、
1:09:53	パラメーターになってしまうとか、そういうこともあるんで、これ、
1:10:01	線形である程度でいいのかなという。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:04	感じはあるんですけどもこれはどうして新規でやらなくてはいけなかったのか、ちょっと教えて欲しいなと思います。
1:10:29	いやいやじゃわかりました。それは解析コードによるということで理解しましたが、このですねレーリー減衰の話なんです、
1:10:38	日以前系材料を使っているのであれば、
1:10:42	履歴減衰モデルがあって、そこエネルギーの、
1:10:47	商品とか出てくるんですけども、先ほどの説明ですと、線形材料も使っていると、線形材料を使ってる場合、その線形材料の
1:10:57	こういう周期 2、このレイリー減衰が妥当なあ、減衰値を示しているかっていうのを、
1:11:04	ちょっと証明する必要があるかなと思うんですがそこはどうでしょうかお願いします。
1:11:18	はい。中国電力の高松です。ちょっとそのあたり今分析してお示しできておりませんので、ちょっと確認して、次回、ご説明できるようにします。
1:11:29	はいお願いします。
1:11:52	すいません規制庁タダウチですけども、
1:11:57	2 ページ 3 ページのところでは、ちょっと幾つか、
1:12:02	基本的なところを教えてください。
1:12:06	免震重要棟遮へい器ってあるんですが、これ
1:12:13	金野ん中の免震重要棟って何か維持しなきゃいけないもんになっている。
1:12:19	んですか。
1:12:25	はい。
1:12:27	中国電力の高松です今、現断面でも、免震重要棟遮へいキーに対しては、そういった遮へい性の要求というのはございません。
1:12:39	規制庁タダウチそうするとこれは何のために立てておくんですかね。何か目的があってこれは維持しなきゃいけないっていう話ですか何か自主的な話っていうことなんですかね。
1:12:51	基準要求の代物ではないっていうことでよろしいですか。
1:12:57	はい。中国電力の高松です今この遮へいキー自体は基準要求の設備ではなくなっておりまして、実際にこの基準、
1:13:09	まず、
1:13:11	安全対策工事の初期の段階です、市民新事業当社兵器に期待した。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:18	計画をした時にですね遮へい性能確保のために、こういった設備は作っておりますけど今断面としましては、金対象への波及影響を評価する、市内する構造物というふうな位置付けになってるというのが実態でございます。以上です。
1:13:33	規制庁忠す。嘘、ごめんなさい。これもうもっとそもそも論でいくと、これ、立てておく意味があんのかないのかって話は何か検討されたりしてるんですかそれは
1:13:45	事業者として何かに使うから立てておくって別に構わないんですけども、
1:13:50	そういった検討はされた上でこれは立てといて、何かに使おうってそういう話になってんですかね。
1:13:57	中国電力のヨシツグでございます。
1:14:00	少し補足をさせていただきます。経緯といたしまして今高松が申した通りなんですけれども現状は
1:14:08	免震重要棟の中に緊急時参集する要員を確保するというのでそこに人が集まってくるというものでございます。自主的にそこに人が集まっているという状況の確保ということでその周りに今の
1:14:24	社員の壁をそのまま残しておくという判断をいたしまして今、現状こういった配置になっております。以上でございます。
1:14:32	規制庁館タダウチですそうすると参集要員の参集場所になっている。
1:14:39	ということなってるんですか。
1:14:43	中国電力伏見ですヨシツグまで確認ですけどこれは基準の外という理解で
1:14:55	で外ということなんだけどもまあね、念のためというかそのまあ、そういう遮へいの機能もあるということの説明をされたということですか。
1:15:05	はい。中国電力ヨシツグでございますその通りでございます
1:15:10	参集としまして建物敷地の外の方に採集する場所を用意してそこからまた集まってきた。
1:15:17	くるというところが要求上のものございましてこれはあくまでも地主として、
1:15:22	SA要員等がそこで集まって一時を緊対所の方から指示を受けていくというときのための自主としての、
1:15:33	設備ということでそこに壁が方があるというものでございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:38	規制庁多田です。わかりましたとにあくまでも事業者が自主で設置しているものという位置付けということ認識いたしました。
1:15:47	なんでちょっと、もうちょっと詳しい話を聞こうかなと。だから壁のところの継ぎ目時なんかはラビリンスになってたら水がはめ込み式のね、要はすり抜けたりしないような構造だったりするのかなあとかそういうところが今後図面の中で出てくるのかなと思ったんだけど。
1:16:04	あまりそういうのも気にせず自主だから自由に作るっていうそういう話でよろしいんですかね。
1:16:12	はい。中国電力のヨシツグでございます。当初はそういう計画でちょっとラビリンスのような構造の配置で計画を立てていたんですけど、現在は自主でございますのであくまでも、
1:16:24	緊待所への波及的影響という観点での説明というものになっております。以上でございます。はい、規制庁タナベ先生わかりました。その上でちょっとついでに聞くんですけど2ページ目の下の図、2-2の社平均の波及的影響範囲ってあるんですけども、
1:16:42	これ、右っ側のやつは緊対場に対しての波及的影響ということ全50メートルってということで、トータル10メートルって言うていらっしゃるんですが、
1:16:53	前後か、高さが10メートルからそうするとこれ左っ側ってこれ、
1:16:58	傾斜ついてんの、これ、こっちが高い、壁がある方が高い方で、下は低いのかな、左の方行くと、
1:17:07	どうなんですかちょっと気になってるのが、これ、
1:17:10	下が何か道みたいのもあるんですけど、これとの関係って何か確認しなきゃいけないようなことがあったりします。
1:17:24	何を言ってるかっていうとこの左っ側の壁が倒れても、ちょっとすみませんこれどっちが上でしたかっていうのちょっと確認いただいた上で、
1:17:32	もしも、壁側の方が上であれば下の道があって道が何らかの例えばアクセスルートになってたりとかっていうことはないんですけど大丈夫ですかねってそんだけの確認ですけども、
1:17:50	はい。中国電力のタカマツですと、今ご指摘いただいたのはこの遮へいキーの左側にある赤い色の遮へい器の
1:18:01	のりがあってその下の道路に対してっていうそういう意味ですか。
1:18:08	はい。こちらですね
1:18:11	アクセスルートかと言いますと、要員が下りるルートは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:19	ばっかと思うんですけども、この道路自体がっていうのは、ちょっと確認。
1:18:30	うん。
1:18:32	病院。うん。この道路自体はアクセスルートだったと思うんですけどこの実際に同じようにですね構造としてはおんなじ今の青色で塗ってあるところと一緒に、
1:18:45	倒壊の影響も、同様に評価はできるという形かと思います。
1:18:51	すいません。規制庁多田ですけど、何かこれ基準上ね何かこれがないとね、所要の機能とかね、運用上ね、これがナイトウ、達成できないよっていうのであれば、当然ここも評価の対象にはなるっていうのであればちゃんと評価をしていきたいっていうところでそこは
1:19:08	すいません事業者の方でちょっと確認をしていただいて、対象ならば、同じような評価をしてもらうしそれでなければ特に、こういうような状況で設定説明していただければと思います。以上です。
1:19:20	はい。中国電力の高松ですご指摘いただきました保管アクセス数の観点でも確認しましてちょっと影響評価について不足がないかも改めて確認したいと思います。以上です。
1:19:34	はい。規制庁の千明です。②の資料1とかに確認する点。
1:19:39	よろしいでしょうか。はい。それでは都丸さんの資料の復水貯蔵タンクの遮へい器、こちらについての確認をお願いいたします。
1:20:02	はい。規制庁の谷口です。2 ページ目のところ、
1:20:12	これ復水貯蔵タンク車平気で同じように書いてあるんですけど、
1:20:19	この復水タンクのは一井が一。
1:20:24	やっぱりわからないんですね。
1:20:28	これは、後ろの方で若干出てくるところもあるんですけど、例えば図の図の3-2 かな、
1:20:37	ページがちょっと、
1:20:39	今言えませんが、キドさんの人も、
1:20:52	ありました。1-3-1 ですか。
1:20:55	10 ページ目のところに、これは市が書いてあるんですね、この地震応答解析のところで初めて出てくるんですけど、
1:21:03	こういった今回モデル化する範囲ってフクイ寄贈タンク、それから補助復水貯蔵タンクとトラス水の受けタンク、
1:21:12	これ光永んです。それで、細い貯蔵タンクが周りにだけ遮へい器があるんですよこれ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:20	ほんでその下にディーゼル燃料貯蔵タンクの格納槽っていうのがモデル化にあるようなイメージですけど。
1:21:29	情報が最初のところで全く書いてないので、
1:21:35	どれをモデル化に対象としてるのかっていうのが、ちょっとわからない。わかりにくいんですね。
1:21:42	で、結局このナカノ水貯蔵タンクだ、の周りにだけ遮へい器があるので、その部分を書いてるっていうことだと思うんですけど、その辺の外、全体のな、イメージが全然わからないので、
1:21:56	その辺の配置をおきっちり、
1:21:59	2 ページ目のところ辺りに、
1:22:02	載せていただくことは可能でしょうか。
1:22:06	はい。中国電力の高松です 2 ページ目とか、そうですね冒頭、早い段階のところで、こちらの
1:22:18	さっき 11 ページに書いてあるようなですね、配置の関係ですね、これがわかるようにお示したいと思います。以上です。その中のこれを対象としてるんだっていうのをきっちり書かないと、やっぱりわからないので、
1:22:31	突然書いてあるように見えちゃうので、きっちり説明をしてください。よろしくをお願いします。
1:22:38	はい。中国電力の高松です。ショウジュオオハシアノ、衛藤。
1:22:43	おっしゃっていただいた遮へいキーがあるのはっていうのはこれ復水貯蔵タンクもそうなんですけど補助復水トラスいずれもありますので、
1:22:54	いずれも遮へい器があるということでご理解いただければと思います。そうするとその中のこの部分だけが、波及影響に影響する性癖だということなんですね。
1:23:05	はい。中国電力の高松です。こちらの、
1:23:10	評価方針のところですかね
1:23:15	すいません。いや、1 ページですね、1 ページの概要のところ上位クラスの施設としまして、Bディーゼル燃料タンク格納槽こちらの上位クラスとして評価するというのが、
1:23:27	大きな方針ですので、それと離隔距離的に影響のある構造物ということで、復水貯蔵タンクの遮へい機が該当するというので今回
1:23:38	ご説明させていただいているところです。以上です。わかりました。要は燃料タンク格納槽に一番近いところだからこれを対象としてるっていうことですね。そういうことを書いといていただければと思います。よろしくをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:52	はい。中国電力高松です。承知しました。はい。それからこの後でもいろいろと質問が出てくると思うんですけど、3 ページ目に書いてあるポストヘッドバーの、
1:24:03	お話。
1:24:04	これは補強の概要って書いてあるんですけど結局補強したのは何なのか全然わからなくて、
1:24:11	結果的に言うと開口周りのところだけ補ポストヘッドバーで補強したっていうイメージなんだと思うんですけど。
1:24:19	その辺もきっちり書いていただいて、当然その補強したところの配筋ぐらいは載せないと。
1:24:29	全くわからないので、説明、と記載をしていただければと思いますがいかがでしょうか。
1:24:37	はい。中国電力の高松です。4 ページのところではPHVの清加納。
1:24:44	補強箇所ということで展開図をお示しておりますけどもこれだけではわからないところですね。もうちょっとわかるように説明拡充させていただきたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。以上です。
1:25:02	規制庁の服部です。
1:25:04	私から何点か確認をさせてください。
1:25:07	これ 4 ページなんですけれども、
1:25:10	真子令和要望なんですけれども、もう少しこの、
1:25:16	寸法を追記していただけないかなと思っています。
1:25:20	ちょっと
1:25:22	待って、
1:25:24	一番気になったのは展開図なんですけど展開図の高さ、
1:25:28	これ一の寸法が欲しかったなっていうのがありますんで、
1:25:32	展開図の高さを入れてもらうと、その上の断面図ですかね断面図の 6 名、
1:25:41	すいません、5 メートルと。
1:25:43	2、200t6800、これの合計値をここに書いていただくと書いていただいて、展開図の方にその高さを
1:25:53	書いていただければ、もうこれが対応してるんだなっていうことがすぐにわかるかなと思いますので、
1:25:58	ちょっとこれは
1:26:01	どこまで要求していいかわからないんですけど、ちょっとそこら辺は変えていただきたいなと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:07	それと断面図のほうの右側、こっちにも寸法を入れていただきたいと思うのは、
1:26:11	この開口の高さが入っていると、この下の展開図との対応がよくわかるので、
1:26:17	この展開図が、どういうふうな展開図になってんのかなあというのが、多分すごくわかりやすいのかなと思っていますので、そこら辺ちょっと寸法を追記していただけないかと思うんですがいかがでしょうかどうぞ。
1:26:30	はい。中国電力のタカマツです図の2-3の開口部の横断、甲斐香田寸法、それと2-4の
1:26:40	展開図の遮へい機能高さこちらの2-3というところの12メートルに当たるものですがこれもこれ、この辺りの寸法、これを記載させていただくようにします。以上です。
1:26:50	規制庁の服部ですはい。わかりました。
1:26:53	あと16ページをお願いします。
1:26:56	先ほど来
1:27:01	何かいろいろ
1:27:03	資料の統一んっていうか考え方を統一話があるんですけど、あまり大きな話ではないんですが、
1:27:10	前回も少しそう聞いたんですけど、この今回SHAKEについてバージョン2.0ついてるんですけど、
1:27:17	建築の方はバージョンついてないんですよ。
1:27:22	ここら辺で、どういう考え方になっているのかなっていうのをちょっと確認したかったんですけど、ついてたりついてなかったりする。
1:27:33	のはどうかなって思ってちょっと資料の体裁上どうかなと思ったりすると、
1:27:38	あとはコードの確認をするときに、もしバージョンが変わればバージョンごとに確認するっていうことになると思うので、
1:27:46	そこら辺バージョン書かないのであれば書かないでもいいんですけど、そこら辺はどういう考え方なのかちょっと確認だけさせてください。
1:27:58	中国電力の高松です。基本的には書かなで6回申請とかも、申請しております、今回これ誤開し、申請の時にですねちょっと
1:28:10	書き過ぎちゃったようなところがありますので、ここは書かないで今後合わせていきたいと思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:19	規制庁の服部さんわかりましたちょっと余計なこと言ったかもしれませんがね。何か書いてもらったほうがわかりやすいのかなとも思いつつちょっと聞いたんですけどちょっとわかりましたちょっと
1:28:30	ちょっと考え方だけ統一させていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:28:42	規制庁のハットリです。あと、これも大した話じゃないんですけども、
1:28:48	50 ページのところローで、ケース①、
1:28:52	Ss-Dのマイナスプラスを選定しますと。
1:28:57	というのが、上から4行目にあるんですけども、
1:29:01	少しこう、
1:29:04	何だろう、最大応答加速度が最大となるケース1、
1:29:10	を選んでもらうんですけども、わかるような記載にさせていただければと思いますこれは別に、
1:29:16	読んでいけばわかることではあるんですが、少し理由があれば、よりわかりやすいかなと。
1:29:22	思っていますので、
1:29:24	ちょっと間検討いただきたいんですがいかがですか。どうぞ。
1:29:32	はい。中国電力の高松です。基本的にはちょっと言葉足らずのところがあるかと思えます。すいませんでした34ページ以降です、
1:29:43	各ケースごとの加速度を分布図をお示ししております、
1:29:52	35 ページですね、35 ページにSs-Dの
1:29:57	ープラ数ですね、Ss-Dのマイナスプラスの加速度分布図が出ておまして、こちらに書いてある35ページに記載させていただいております通り、都庁部の応答加速度最大値これが、
1:30:14	最大とを、全ケースで見ても最大となっておりますので、島弧Ss-Dのマイナスプラス魚対象として、応力解析をやっていきますっていうのが
1:30:26	30、50 ページ以降の流れになりますのでちょっとその辺り説明がもうちょっと補足した方がいいかと思えますので、記載拡充させていただきたいと思えます。以上です。規制庁の羽鳥です。はいわかりましたどうしてもということではなくて読んでいけばわかるんですが、
1:30:41	わかりやすいの観点で、ちょっとご検討だけいただければと思います。
1:30:46	あと最後になります。
1:30:49	先ほど
1:30:54	谷口の方から、BHPの話が出たんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:58	これは補足を作るのであればということになるかもしれないんですが今回、
1:31:08	56 ページ。
1:31:11	のこのせん断破壊に対する最大照査値というのは、
1:31:15	これPhBがあるところでやってるという理解でよろしいんでしょうかどうぞ。
1:31:28	はい。中国電力の高松です。
1:31:32	はい。服部さんにおっしゃっていただいた通り 63 ページの一番最後のページにですね、最大照査値発生箇所の位置図ということで、
1:31:42	お示しておりますけども、いずれも開口の間口部分といいますか、そこになっておりますのでPPの設置箇所ということにはなりません。以上です。
1:31:57	規制庁のハツリですはいわかりました。先ほどの説明の中で、
1:32:02	55 ページにあるように、許容限界は短期許容力度ですよという説明があつて、
1:32:10	PhBのところワー
1:32:13	PH微分の
1:32:17	受けもⅡ耐力を、
1:32:21	差し引いて、
1:32:23	協力等で確認するみたいな花強い。
1:32:26	のように聞こえたので、
1:32:29	ちょっとこら辺の評価の考え方が、
1:32:33	ちょっと先ほどの説明だと少しわかりにくかったので、
1:32:37	一応確認をしてみたんですが、
1:32:40	何となく、これだけ見てるトーン協議会が協力度D、
1:32:46	評価ガー、体力、今日せん断力で評価してるカラー
1:32:52	何かちょっと違和感を感じてしまったのと、
1:32:55	もう1回具体的にそのpHB、
1:33:00	を考慮した
1:33:02	評価というのはどういう評価をやってるのかなっていうのがこれだけだと少しわからないんですね。
1:33:07	もしその、
1:33:09	これも補足を作るのであれば、そこら辺、
1:33:13	しっかりとPh. D. の体力がこれだけありましてとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:33:16	ていうのを書いてもらえばわかると思うんですが添付だけだと、なかなか書き切れないところもあるので、ちょっと考え方だけ。私が言ったように、せん断力からpHBのせん断耐力を引いて、
1:33:30	協力の評価をやろうとしてるのか。
1:33:33	それともあくまでもここにある許容せん断力というのは、コンクリートのせん断力と、PPBのせん断力、
1:33:40	せん断耐力を足したものが許容せん断力になっているのか。
1:33:44	何かちょっとそこら辺がよくわからなくて、先ほどの説明との関連性を確認させてください。
1:33:53	すいません、中国電力の佐田で先ほど質問の再確認なんですけど、それとポストヘッドバーを使っているところのせん断耐力の設定の仕方、
1:34:04	についてのご質問ということでよろしいでしょうか。
1:34:08	規制庁のハトリすみませんちょっと話がうまくできなかったんですが、まず今回の、
1:34:13	この表の6-2の評価というのは、ポスト別途バーを考慮した評価になってるということでよろしいんですね。
1:34:21	中国電力のサダタニです。その通りでございます。
1:34:25	木瀬規制庁のハトリでそれで先ほどの説明では、ポストヘッドバーせん断破壊に対する照査については、
1:34:33	ポストヘッドバーを考慮して許容する。
1:34:37	短期許容力度で評価しますっていうふうに聞こえたので、
1:34:41	ポストヘッドバーを考慮した。
1:34:44	短期故意許容応力度による評価っていうのは、どういうふうにやってるのかなあとということで、その方法についてか、事実確認だけさせていただければと思ったんですがいかがですか。どうぞ。
1:34:54	中国電力のサダタニです。
1:34:58	フォレットバーを考慮した短期許容応力度の体力の設定の仕方なんですけど、
1:35:06	まず、
1:35:09	許容
1:35:11	応力としてコンクリートが負担するせん断力と、鉄筋が負担するせん断力、それぞれを足し合わせたものを、耐力としておりますで、
1:35:21	鉄筋が負担するせん断力、
1:35:24	について、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:26	許容力度法で制定する際のやり方が、検出建設技術審査証明報告書、あと施工プレート定着期型せん断補強鉄筋の
1:35:40	ポストヘッドバーについての 161 ページに記載。
1:35:44	がありまして、
1:35:47	その鉄筋だけ、数先施工の鉄筋で施工した場合に、
1:35:56	鉄筋が受け持つせん断力に対して、データWという係数を掛けることによって、
1:36:03	ポストヘッドバーを用いたときの、許容力で示す調査する際の、敵の
1:36:13	調査ができるようになっている。
1:36:17	というところがございましてちょっとこの記載だけではわからなかったと思いますので、そのあたりの記載を拡充させていただきたいと思えます。
1:36:26	規制庁の服部です。わかりました
1:36:30	要するに 55 ページにある、
1:36:33	短期許容応力度って書いてあるのは、あくまでも許容せん断力を出すときに、この短期強力度に、
1:36:42	有効断面積なんかなんかをかけて、許容せん断力をコンクリートでは出すという意味でここに、
1:36:50	短期許容応力度と書いているということですね。ポストヘッドバーについてはポストヘッドバーの鉄筋、
1:36:57	鉄筋部分のせん断耐力の評価式が別途あるので、
1:37:01	それに足し込んで、ここにある許容せん断力を出している、というような評価だということに理解をいたしました。
1:37:08	はいわかりました。
1:37:14	私からは以上です。
1:37:20	規制庁の江崎です。許可時に聞いた話なんで随分前の話で、教えてしまったんですけど、pHBのその妥当性っていうか適用性の話で確認したと思うんですけど書類の中では、
1:37:33	協力とほ。
1:37:34	に関する適用に関しても変えて、
1:37:37	ありましたっけ。
1:37:50	はい。先ほど申しました通り建設技術審査証明書、報告書ですねこちらの方に協力度を用いる設定の仕方ですが、これについて言及がありましてそれを参照させていただいております。それを参照して打ち出してる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:06	提出書類の中には、それは入ってるってことでいいですよ。いわゆる、
1:38:11	書類としての負の対応っていうかね、要は紐づけができるかどうかの話だけを聞いてるんだけど、
1:38:27	ただここ多分工認図書にも同じものが入ってくると思うんですけどその中に、
1:38:32	いわゆるPHVを使うということで、
1:38:35	うん。
1:38:37	その広報の協会のものを使ってその妥当性、
1:38:43	適用性を、妥当性ってのはもう、
1:38:46	実績があるので、同じものを羅列してるだけだと思うんですが、ちょっと適用性ということで、書いてると思うんですがその書類の中に、その協議会に関しても集合限界タケダだけじゃなくて協議会に関しても書いてますよねっていう話。
1:39:01	いや、言いたいのは、
1:39:06	もしその今日の話が書いて、今なかったとしたらそう書いてもらう必要があるんですよ。それを我々は見ることがあって、
1:39:15	それを逆に言うと、例えば、
1:39:18	補足かもしれないけど、補足の屋外重要構造物。
1:39:23	等でもpH使ってますよね。
1:39:26	その中で、その調査方法とかいろいろ、
1:39:29	フィルム、
1:39:32	棒部材、
1:39:34	に合わせてそういった狂言会の使い方、
1:39:38	とかいったところも確か方針として整理されてると思うんで、そういったものが全部
1:39:43	全部、
1:39:44	体系化されてるかどうか紐付けできてるかどうか。
1:39:48	いわゆる、ここにこう書いてあるんだけど、実際その元になるベースのところの書類はどこにあるんだって言った時にそれがないとなるとちょっと問題があるんで、
1:39:59	一定的にわかりますよね大澤に近いんだけど、
1:40:02	広報のそのマニュアルを見てくださいということにはちょっとならないと思うんでこれはあくまでも、さっき言ったエンドースされているものでも何でもないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:12	だから、妥当性とか適用性を確認し、した書類と、
1:40:17	我々の方で審査していますんで、
1:40:23	はい。中国電力の高松です許可段階の時に四条の別紙ということで、あと施工の耐震補強ということでご説明さしていただいております中に、
1:40:35	今回の短期アノ協力度を適用した考え方がもうすでに説明済みかっていう趣旨かと思しますので、ちょっとその辺りこの時取水槽代表に
1:40:46	御説明適用性を説明させていただきますんで、許可、許可の時は、とりあえず良くて、私の記憶の中では、許可のやつがインパクトあるから許可ところ言ってしまうんですけど、
1:41:01	今回の設工認の中でも同じような書類入ってきますよね。
1:41:05	その中に、
1:41:06	いや、工認の図書の中でちゃんと、
1:41:09	紐づけが全部コンプリートしてるかどうかを確認したかったんですけど。
1:41:15	中国電力のヨシツグでございます。すいません本社から補足させていただきます。
1:41:20	屋外重要土木構造物の補足説明資料の中の一つとしてまだちょっと資料としてご提示できてないところ申し訳ないんですが、もしその資料目次としては、入れているものでございます。その中で設置許可でご説明した中身と同じ。
1:41:37	今高松が言いましたところの資料を、
1:41:40	整理してまたご説明さしていただきたいと思っておりますその中で適用性、各校いった部材で本当に適用できるのかどうかというのも、今回構造物として、設置許可のときは取水槽のみが対象だったんですけどもそれ以外の
1:41:55	構造物部材についても今回適用するものになっておりますのでそれを改めてご説明することを考えております。以上でございます。
1:42:05	規制庁の江崎です。技術的にね、特にもうかなり
1:42:10	集合限界とかそういった形では、たとえば結構使われていて中でも協議会を使ってるって話はありますんでね、特に異議はないんですけど、基本的には書類としてコンプリートしてるかどうか。
1:42:23	そこだけが問題なので、その辺だけはちょっとしっかりとですね。
1:42:27	書いてないとか、行き先がないということがないようにですね、していただければと思います。私からは以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:36	はい。中国電力の高松です設工認のこの先ほどヨシツグが申しました通りの当初の中で説明し切って、コンプリートするように、気をつけます。以上です。
1:42:47	規制庁の服部です。1点だけ念のために確認させてください。
1:42:51	往々にして、せん断タイを後施工せん断補強金を入れると、照査値がぐっと下がるので、
1:43:00	入れないところの方が人たちが大きくなるのが往々にしてあるんですけども、今回はそれはなかったということでよろしいでしょうかどうぞ。
1:43:10	はい。中国電力の高松です。おっしゃった通りで、それ以外のところのせん断も含めて確認した上で、今回打った設置した箇所がせん断最大であることとお示しております。以上です。規制庁のハツトリですはいわかりました。私から以上です。
1:43:30	規制庁の伊井です。
1:43:31	今の話だと56ページの表6-2で、
1:43:37	せん断照査されてる91。
1:43:40	キロニュートンパーメートル出るところこれはPAPだけ、pHBはないところですよ。
1:43:47	じゃないのちょっと。
1:43:49	よくわかんないんですよ。例えば4ページ見ますでしょ。
1:43:52	4ページの図2-4を見てみると、
1:43:57	黄色部分がPhBによる、
1:44:00	補強箇所って書いてありますよね。で、
1:44:02	これだけ見る等、上の図で見れば、
1:44:07	その何ていうか、出っ張ってるっていうか、開口周りの側壁とね。
1:44:13	あとこの好み何だっけな。4ページの図2-4の、
1:44:19	右下の部分の固定底部の部分ってどこにあるのかもよくわかんないんですけど、
1:44:25	どうもその出っ張ってるところだけがBHBで補強されてんじゃないですかこれ。
1:44:31	これねよくわからないですよ。例えばね、これ63ページまでちょっと見ていただくとね。
1:44:37	応力図があるじゃないですか。これでどこ、どこを目標してるんですか。
1:44:44	ちょっとね頭脳4ページのもの、4ページのものだけだと、候補教科書がよく理解できない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:58	すいません。中国電力の高松町長お時間いただいてよろしいでしょうか。はい。
1:45:32	それ今、Ph. D. のツールを、
1:45:38	はい。中国電力の高松です。衛藤。
1:45:42	すいません三浦さんにご指摘いただいた通りですねP1Bの設置箇所はですね、施工の図面確認いたしましても4ページでお示しております。
1:45:54	この黄色のハッチング範囲ですねこの開口間口の特に角部のところですねこちらにせん断応力集中するという対策として、打ってあるっていう状況でございますので、
1:46:08	今、差異60、
1:46:13	2ページですかね、62ページのせん断力の分布図でお示しております上から二つ目のコンター図ですけどこちらに91kNというふうに、
1:46:25	引き出しておりますけどこちらについては、このこの図面でいうところのアノと、あと施工箇所ではないっていうのが実態かと思うんです。なので、ちょっと改めて図面ともう一度確認しましてですね。
1:46:40	ご説明はさせていただきたいと思います。以上です。
1:46:43	すいません規制庁の三浦ですけど、本当にどこが補強されてるかね。ちょっと掴めないの、
1:46:51	ちょっとそれをわかるようにしてください。
1:46:54	はい。中国電力の高松です。失礼しましたよく確認してお示しできるようにします。以上です。はい。30ページなんですけどね。
1:47:05	ここに地震応答解析モデル図っていうのが出てるんですけど。
1:47:11	これー、
1:47:12	復水貯蔵タンクの失点系モデルと、
1:47:17	金阿藤、復水貯蔵タンクの遮へい器のモデルってこれ位置が違うって書いてますけど、これ、同一位置に、
1:47:25	モデル化されてるんじゃないんですか。
1:47:28	要するに、基礎スラブ中央に両方の視点が立ってんじゃないんでしょうか。
1:47:48	はい。はい。中国電力の高松です
1:47:53	基本的には30ページにお示してあります通りタンク自体の視点1同斜兵器っていうのは、別々の位置に出店として設けてるっていうのができます。中国電力のヨシツグでございます。
1:48:08	本社からすみません、ちょっと訂正させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:12	今三浦さんおっしゃった通りですね、1.1 といたしましては、中央位置に両方を持ってくるように設定させていただいております。以上でございます。
1:48:23	が規制上目指す今、吉井さんがおっしゃったようにこれ基礎スラブ中央にね、両方の視点棒が立ってなきゃいけないので、ちょっと重なって見やすい、見にくいってことで多分こんな訳を変えたんです。これちょっと、
1:48:35	誤解を受けそうなので、これについては、ちょっと図アノ図示を工夫してください。でもシモ工夫できないかと拡大図が何か書いてね。
1:48:44	わかるようにして正しい情報が選べるようにしてください。
1:48:50	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっと拡大図等でですね中央位置にちゃんと縺縺されてるといのがわかるような絵もですね合わせて、ちょっとつけるよう等工夫させていただきたいと思います。以上でございます。
1:49:06	規制庁の三浦です。あとですね、
1:49:11	これ、
1:49:13	53 ページで応力解析モデル図ありますよね。
1:49:18	これ地震荷重ってこれにはどうやって入れてます。
1:49:22	ボディ歩数にアクセラレーション加速度の最大加速度を切れかけてるのか、それでも出展系から持ってこよう来ている最大応答値を水平力とか、
1:49:33	鉛直で書けてるのか、ちょっと教えてください。
1:49:41	はい。中国電力の高松です。すいませんちょっと確認ですけど 3 次元のシェルモデルの方に荷重のかけ方としてっていう、3 次元シェルモデルに地震荷重はどのようにかけてますかっていう質問です。はい。
1:49:58	はい。中国電力の高松です。
1:50:01	3 次元のシェルに関しましてはその前段で二次元のFEM解析をやって、加速度の分布を記載しております通り、加速度の最大の分布が出ますので、
1:50:15	それを加速度をシェルの方にかけているっていうのが実態でございます。
1:50:27	けど、具体力として入れて、
1:50:31	そうですね資料ボディコース 2 画アクセラレーションかけてるっていう形ですね。
1:50:37	はい。中国電力の高松です。今おっしゃっていただいた通りです。以上です。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:45	この辺が建屋と違う取り扱いですよ。支店系でモデル化された建屋の方はね再度打ち出してそれを水平力として入れてやるってことやるんだけど。わかりました。それはそれでわかりました。それで、
1:50:56	これ多分、複製チョウゾウんと、貯蔵タンクの基礎っていうのはこれ間接支持構造物になりますよね。これ別途経産省出てくるん。
1:51:06	ですね。
1:51:10	バラバラになるんじゃないかん復水貯蔵タンクが、
1:51:14	ISSもできないの。違う。幾らですか。Bクラスなの。
1:51:19	それは出てこないんだ。
1:51:35	これじゃ、木曾は何もチェックされなくてももう終わってしまう。はい。中国電力の高松です。こちらの水源としないBCクラス数の
1:51:49	構造物、機器等ということで構造物にも該当しますんで、そちらでも遮へい器と真木層と、今回中にも書いております
1:51:59	耐震補強鋼材がありますので、そちらも含めて、結果形はお示ししないといけなかなと思っておりましたので、こちらについても今、遮へいキーの結果形だけに今なっておりますのでいずれも
1:52:11	基礎もこの構造物についてはご説明はするつもりです。いいですか。わかりました。基礎の計算書も出てくるってことですね。
1:52:21	はい、わかりました。だからセイキ。
1:52:28	はい。えっとですね、このタンク、えっとですね、タンクといいますか、この遮へい器自体が、垂涎としない、BCクラスの機器等ということで、
1:52:40	要は、水をキャッチする役割を持っておりますので、第7回の申請で出す予定ではあるんですけども、遮へい機に加えて基礎等も、
1:52:51	評価をして、ちゃんと水がキャッチできるというふうな評価をお示しするつもりです。
1:53:22	はい。中国電力の高松ですけど、こちらの開口は外部に向かって開口になっているっていうよりもCSTの原子炉建物へ続く連絡ダクトの方に続く開口になっておりますので、
1:53:37	基本的にはこのタンクではなくてこちらの遮へい器の方でそういった水源としない、評価をして、ご説明をする予定です。
1:54:00	ちなみにで言いますと、水源としない遮へいキーではあるんですけどこちらの原子炉建物側は水密扉が別でございまして、そちらも溢水側の方で、
1:54:11	評価するというふうにしております。
1:54:41	規制庁の江寄ですか、30ページのモデル図なんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:54:47	この地方面。
1:54:49	それはもうもしかしたらもう他の審査官からコメント出たかもしれないんですけど、
1:54:56	断面図、
1:54:58	で言うと、10メートルぐらい、左側の方は
1:55:04	なんていうか経営傾斜してるっていうか斜面上なってますよね。それをモデル化しなかった理由って何かあるんですか。
1:55:14	いやいや、
1:55:18	はあ、もう、
1:55:26	例えば、11 ページに断面図がありますけど、この断面図見ると、トラス水受けタンクの左側には、
1:55:33	傾斜してますよね。あえて何か、
1:55:36	強めたりした理由がよくわからないんですけど。
1:55:40	はい。
1:55:42	はい、中国電力の高松です。
1:55:44	今回評価対象構造物が復水貯蔵タンクということで、はい。
1:55:53	殊、
1:55:58	はい。言いたいのは、
1:56:00	基本的に言うと、この傾斜上、
1:56:02	があると、応答加速度変わりますから変わりませんかかってそういうことです。
1:56:10	はい。この中国電力の高松です 11 ページの南北断面の地質断面図、お示しておりますけど今回評価対象部位構造物が
1:56:23	復水貯蔵タンクということで、その北側に二つランクがあって、そのさらに北側にこの傾斜の檀家があるっていうことなんで今回
1:56:34	復水貯蔵タンクを評価するという意味で言ったら地上の岩盤上に建ってるタンクなのでその傾斜してることによって揺れやすくなってるわけですよ。その影響ってのは出ますか出ませんかかって聞いてると。
1:56:49	確認しましたかっていう話だからこういうモデル作る時にさ、逆側にもさ傾斜があるわけじゃ、直行方向に持ってと、当然さ、斜面のウエダとさ、トッピングが起きるからさ、揺れやすくなるじゃない。
1:57:01	うん。だからそう言ったことで、どの程度もう無視できる量なのかどうなのかって確認しましたかと聞いてます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:09	はい。中国電力の高松です。そういったところまでまだ確認はできておりませんのでちょっと改めて確認してご説明させていただきたいと思います。吉尾ヨシツグさん。ここどう、どうなんですかね斜面の影響。
1:57:23	とか小さい小段の影響。
1:57:25	直行方向にも斜面があるわけですき田内が言ったようにですね、
1:57:31	これは真木はじゃないかもしれないけど、
1:57:35	どの程度は外れたて定量的に、
1:57:38	ふう水平成層としてみなせるんですかね。
1:57:42	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっとすいません、定性的な答えになってしまうかもしれないんですけども、
1:57:50	今江崎さんおっしゃられた通りこの岩盤のところの第3速度層と第4速度層、このところがかなり斜めになっているということで、
1:58:00	そこから離れていく、斜面のかなり第3速度層が厚くなっていくところの斜面があり、解析モデル上おそらく1メッシュか2メッシュ、
1:58:10	一番左から、
1:58:12	この辺りに斜めの社名が出てくるちょうどところだと思っております。第2速度層が概ね水平成層になっておりますので、ほとんど影響はないとは思っておるんですけども今、高村さん、磯さん、僕が言ってるのは、その層理のそのね、地質構造ではなくて地形形状の話をしていて、
1:58:32	一定にわかる。
1:58:34	はい。中国人だから、そういう判断かもしれないけど、
1:58:39	ここ段あることによって、どういう影響を及ぼすのか、または困難じゃないんですよさ。直行方向、
1:58:47	いやこれしゃべんないんだっけ、比較ないのかここは。
1:58:52	うん。普通こっち、ちょっと僕はないね。これね、フラットなね。
1:58:56	ここだん。
1:58:57	が、どの程度増幅するのかって無視し得るようなのかどうなのかっていう話だけなんですけど。
1:59:05	はい。中国電力ヨシツグでございます。衛藤。
1:59:09	今回のこの斜面上の高さでいくと、8.5から15メートルの約6.5メートルぐらいの斜面でございます。で、
1:59:20	こことはちょっと違うんですけども
1:59:24	地盤の安定解析で同じような、斜面上のところを通っているところの応答を過去見た記憶がございますけれどもあまり大きな影響がなかったと思っております。で、衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:37	この場所は埋め戻しどうだったのちょっと比較にはならないと思うんですけど今回岩盤ですので、より影響としては地質小さい範囲内ではないかなと思ってます。定性的な話じゃなくて、具体的にちょっと説明してね。
1:59:50	ちゃんとかういった部分と設計でいったときに、どの程度まで考慮すべきなのかできないのかってのは初めから考えておくべきで、方針として、
2:00:00	そう言ったことをちゃんと説明いただけますか。
2:00:05	はい。中国電力ヨシツグでございます。
2:00:09	いただきたいと思います。3倍ぐらい離れたら影響ないとかさ、そういった話だとかさ、いや、ちゃんとそういうのをちゃんと説明してね。
2:00:19	はい。中国電力ヨシツグでございます。了解いたしました。
2:00:39	規制庁チギラズ他、確認する点ある方いらっしゃいますか。
2:00:47	すいません規制庁タダウチですけれども。
2:00:50	すいません、ちょっと先ほど話題に出たんですけれども、復水貯蔵タンク、CSTなんですけど、
2:00:59	これはECCS系の第1水源になっているタンクではないってことでもいいですか。内部に別途何かCSPみたいなプール持っていたりとか、内部タンク持っているとかってそんなことでいいですかね。
2:01:21	中国電力のヨシツグでございます本社側から答えますけど少々お待ちくださいませ。
2:01:50	中国電力の長田です。EP等でもご説明させていただいてますけれども、1月の第1水源はトラスサプレッション・チェンバの方に、
2:02:01	換えて説明させていただいておりますので、タダウチさんのご理解の通り、第1水源となっております以上です。
2:02:09	規制庁たたいてそうするとねDBSAの中、ここには、この水源には期待しないってことになってるってことでよろしいですね。
2:02:21	はい。中国電力の長田です。はい。そうですね耐震性の問題もございましたので、はい。
2:02:28	CSTには期待をしております。以上です。
2:02:32	はい規制庁忠さんわかりましたそうするとここは一応御社の方でBクラスって位置付けのもので、それ相応の対策食うをしますということで、なっているということで、わかりました。
2:02:43	で、ここが今ちょっとさっきのお話があったのが遮へいデータがね遮へい構造があってそれが下のトレンチと多分一体構造になっていてで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:56	建屋側の出入口のところに止水処理をしてやるっていうそういうイメージでいい、いいですか。
2:03:06	要は配管はあるんだけど、トレンチのところは支持当然配管の出入口が止水性を担保するようなことになっていて、
2:03:17	CSTの水が溢れて、損壊して漏えいしても、そのトレンチ内にため込むことで建屋内に水源に水として影響を及ぼさないというような、
2:03:31	構造ということでもいいですかこれは多分あれが後で説明があるのかな。
2:03:36	後日、
2:03:39	はい。中国電力の長田ですタダウチさんのご理解の通りで、はい
2:03:44	原子炉建物に、地下トレンチ、
2:03:49	住宅も接続しておりますが止水処置等をして、原子炉建物の方に行かないように、はい。処理処理をしております。以上です。
2:04:00	はい、規制庁タダウチCSTとそこら辺の構造の何となくの取り合いはわかりました。で、
2:04:07	ついでにちょっと聞くんですけど、そのトレンチのね、海側っていうこれどっち側になるんだ。
2:04:17	図北側かなズー何ページだ、十分資料3の、
2:04:25	10ページかな。
2:04:32	赤い移入有賀って試運復水貯蔵タンクでその上が多分サブタンクになっていてその上が通らスースーン水受けタンクになった三つ並んで火正直言うとこのタンク三つとも、
2:04:47	おんなじ炉水をため込むところにはなるんだけど、
2:04:54	そうするとねトレンチ等があると思われるところは多分復水貯蔵タンクって書い赤丸の右っかわのところの地下にずっとあって原子炉建物の方に行くような話にはなっちゃっているんだけど、既
2:05:11	とね。そうずっとそのトレンチと大町場所の上、変わって、これ何か安全対策工事で何か穿ったりしてるようなエリアじゃなかったでしたっけ。
2:05:25	はい、中国電力の高松です今おっしゃっていただいた通り原子炉建物に続く連絡のトレンチですねその北側が掘削箇所ということに位置しております。以上です。
2:05:45	あ、それとですね、規制庁た形でそれと掘削エリアの北側の方の、
2:05:53	てっぺん部分ぐらいに多分ここにある。
2:05:58	確か地下水位低下設備があるのではないかなと思うんですけど。
2:06:06	はい。ご指摘の通りでした。中国電力の高松です。ご指摘の通りでこの掘削箇所の北側ですねちょうどこの10ページの絵でいうところのりど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いいですか斜面の絵が見えてる横野あたりに今現状地下水位低下設備揚水井戸がございます。以上です。
2:06:25	そうするとすいません、例えばトーラス室付丹空の遮へい器とか、
2:06:33	ここ構台を設けるところではないような気がするんですけども、そういったところの影響とかが出るような話にはならないですか、地下水位低下設備に対して、
2:06:51	この後に出てくるのであればそっちでお話をさせてもらう。
2:07:01	すいません。要はここいわゆる掘削工事をしていて構台設けないところという話になるところが、
2:07:11	荘司空洞調査やってるって話になると、そこに対して、トーラス抜けタンクとかサブタン区の方の遮へい器が何か悪影響を与えるようなことは特にはないですよっていう、それだけの確認なんですけれども。
2:07:27	大丈夫ですかね。はい。今回の復水貯蔵タンクの北側に補助復水貯蔵タンクとトーラス水の受け入れタンクがあってその
2:07:38	ちょうど東側に掘削箇所空洞というのがあるという位置関係になるんで、今後この補助復水貯蔵タンクし、トーラスについても、
2:07:50	水源としない機器等ということでご説明させていただきますんで、その中でその空洞の影響ですね、基本的に地上の岩盤上のタンクで、
2:08:00	南北で評価するというので、御説明はできるのではないかなと思うんですけどそのあたりの空洞の影響もちゃんと検討してご説明したいと思えます。以上です。
2:08:10	はい、わかりました。影響があるかないかの話はしっかりとさせていただきたいという話と、ここに何か物が倒れ込んで影響が出るよって話は特にはないですかねそこも大丈夫ですかね逆にこの、
2:08:25	中国電力の高松です。今おっしゃったのは、この空洞側に倒れ込んでっていう工藤側にトーラス室だとか、補助復水タンクここには遮へい器はついていない、ついてますよね。はい。
2:08:39	当然そうですね一次系の水をため込むストレージタンクになっている以上は、ここにも多分、CSTよりも、次の11ページを見ると、薄っぺらい遮へい気がついてると思うんですよ、と見ても、
2:08:53	そうすると、
2:08:55	何となく弱いような気がするんですけどもこっちの方が壁がね、そういったものが何かこういったところの、掘削エリアに落ち込むような話があってそれが何らかの影響を与えるような話があるのかないのかっていうところはどうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:09	はい。中国電力の高松です。ご指摘の通り補助復水貯蔵タンクについてもですね水源としないということで若干CSTよりも、碓井壁になってたかと思しますのでそちらで水をキャッチするっていうことで、
2:09:23	評価しますので、倒壊とかがあってですね、空洞への影響がないとかそういうところも、結果的にはご説明することにはなると思いますがその遮へい器自体の健全性。
2:09:34	これについては今後ご説明させていただきます。以上です。
2:09:39	はい、わかりました。そこら辺も含めていろんなものがあると思いますしいろんな工事を今やってるかと思うんですがそういったところの影響っていうのも、まさに現地の状況っていうの、
2:09:51	中国電力の一番多分把握されていると思いますからそういったところを考慮しても、
2:10:01	影響がないんですよって話は、きちんと説明できるようにしておいてください。以上です。
2:10:09	中部電力高松です。承知しました。
2:10:18	はい。規制庁千田です。都丸さんの。
2:10:21	資料について、
2:10:26	はい。規制庁の仲村です。1点だけなんですけども、消し資料3の15ページですね。
2:10:34	大した話じゃないですけども、ちょうど中ほどに、両括弧2の積載荷重っていうところがあって、そこに公文書でドアつってかかっているんか行かれてるんですけどこれ、
2:10:46	何か間違いでもないですか。
2:10:49	多分そんな動圧を見るようなところでもないと思いますし、後ろの方の、
2:10:56	50ページかな。
2:10:57	でも、ドアつって見られてないと思うんですよね。
2:11:10	はい。中国電力の高松です。この遮へい器の下部にはですね鉄筋コンクリート製の基礎がございますので坂形の基礎がございますので、
2:11:21	これが15メートル盤の内地盤地表面からちょっと
2:11:26	ちょっとだけですけど地中に入っておりますのでその部分のソクホウ度圧を考慮するというので、ドアツーというふうに書かせていただいております。以上です。
2:11:42	そうするとあれですか、50ページのところは、
2:11:47	それぞれの荷重のちょっと説明があるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:51	50 ページの 4-3-1 の荷重のところですね、それぞれ固定荷重と書かれてるんですけど、動圧について書かれて、
2:12:02	ないと思うんですけどそれは不要でいいんですか。
2:12:10	はい。中国電力の高松です。
2:12:14	今ご指摘いただきました 50 ページについては、これ 4 章のですね遮へい機能を 3 次元の応力解析になりますので、
2:12:25	この遮水壁の荷重条件ということで、隆分の気相部分は入っていない、モデル化しないということで、動圧は入ってないという整理になります。以上です。はい、わかりました。
2:12:37	私からは以上です。
2:12:41	規制庁的なやつ。
2:12:43	他よろしい。
2:12:54	規制庁コバヤシすみません、一応念のためなんですけど、29、29 ページ目の構造物のモデル化とか、上演調整って先ほど免震と遮へい器でもちょっとモデルのいろんな定数とかのモデル化について、
2:13:07	説明してくださいって言いましたんで、同じように書いて、補足していきたいと思います。よろしいでしょうか。
2:13:15	はい。中国電力の高松です姫路重要棟遮へい器の方でもご指摘いただきました通りでこのモデル化のところですね、もっともう少し記載拡充説明を拡充したいと思います。以上です。
2:13:30	お願いします。あともう一つちょっと書く教えて欲しいんですけど、55 ページ目ちょっと免震、
2:13:37	等の差平均もあったんですけど、許容限界で、妥当な安全裕度考慮するって意味がちょっとよくわからなくて、
2:13:45	こちらの 55 ページ目でマーケ大陸のところに、こっちにつけてんですけどもこれ
2:13:51	小野瀬評価式っていうのは、コンクリート標準示方書かなんか、何が知らなく、何か配慮してるってことがちょっとその辺がよくわからなかったんですけど。
2:14:00	説明していただけますか。
2:14:11	中国電力のサダタニですと、構造解析係数を考慮した上で、妥当な安全裕度を考慮するという事だとは思いますがちょっと確認して改めてご説明させていただきます。
2:14:25	よろしくお願いします。
2:14:29	はい。沖田谷津他、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:31	よろしいですかね。はい。ではちょっと時間も短い以上たちましたので、
2:14:38	この波及的影響については以上としたいと思います。
2:14:42	それで、次のテーマについてはちょっと休憩の後にしたいと思いますのでここで一旦休憩としたいと思います。
2:14:52	はい。規制庁吉良です。それでは引き続きヒアリングの方を行います。続いての、
2:14:59	説明項目は、気がついてから設備の設計方針のコメント回答となりますので、説明の方をお願いいたします。
2:15:09	はい中国電力の伊原と申します江藤では、地下水位低下設備の設計方針のコメント回答をさせていただきます。資料につきましては裁判した4番の回答整理表と06番、5番の
2:15:23	別添の地下水位低下設備の設計方針でロア6番の補足説明資料の方で、コメント回答いたします。まず回答整理表の④番の資料の2ページをご覧ください。
2:15:37	今回コメント回答はシントウ理解性に関わるコメントが1件とあと、排水関係が19件ございまして関連するコメントは国がなるべく作ってからご回答いたします。
2:15:49	2ページ目の17番、
2:15:52	別、コメントの内容が、地下水で下が地下水流入量の算定において再現解析と最大実績との比較を行うとともに、
2:16:00	予測解析における流量と保守性を説明することといただきまして補足説明資料6番の資料の13ページをご覧ください。
2:16:12	はい13ページの方がちょっと最近改正貸金の方でお褒めいただきましたが予測解析の方で実績の日最大配水量を、
2:16:23	記載してます。表2-6の方にの一番下ですね実績は資料として、1日当たり5387立米という実績配水量を追記しまして、
2:16:35	上の説明文ですねまた以降の2パラ目なんですけど、予測解析による用水道への地下水流入量7169立米は、地下水位低下設備新設の設置工事前の期間における
2:16:48	既設のポンプの実績排水量の最大位置最大の実績配水量を上回っていることを確認してございますというところを追記しました。コメント17番の回答は以上です。
2:17:02	規制庁の三浦です。これ私のコメントだと思うんですけど、
2:17:07	これ13ページでこれ比較していただいているやつっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:17:15	季節が動いて今の現状の状態、要するに前の状態が出てきている最大実績。
2:17:23	それ等、それが 5387 で、今回の降雨条件 2400 とした場合の新設を考慮したときの、
2:17:32	地下水流入度が 7900 キロ 7969 っていう数字が出て、上回ってますっていう説明なんですけど。
2:17:41	これは比較対象にはならないんじゃないかなと思うんですよ。
2:17:46	あくまでも再現解析の状態、考慮 2400 とした場合、実際の実績配水量とどうかっていう比較が必要だと思うんですがその点についてはどう思われますか。
2:18:02	はい。中国電力の伊原です開くそうですね。予測解析の方で 2 ですね、まず 12 ページをご覧ください。
2:18:11	確かに
2:18:14	再現解析では、
2:18:16	雨量等は、実績を用いたものに対して、1010 ページ。
2:18:23	ですね
2:18:25	これですね再現解析で 1116 立米というのが出てて、それに対して実績実績は資料の 2 日平均が 969D。
2:18:36	それでここにですねご指摘いただいた日最大をいうと 5300 っていう数字を入れると。
2:18:43	この再現解析がモデルの妥当性を説明する庄田でしたので、ちょっとうまく説明できないな、なんていうことを考えまして、予測解析の結果に入れ込んだと。
2:18:54	比較するに比較にしてももう、何っていうんすかねもう 5 倍ぐらい増えてるんっていう所。
2:19:00	これしか書けない。
2:19:01	あったので、今は、
2:19:03	このような 13 ページ側に書いたっていうような状況です。
2:19:09	うん。まず 10 ページ見ると、これ災害解析で 1001116 っていう出てて、実績は、今ご説明になられたように日平均ですよ。平均ですよこれ。
2:19:20	はい。9 時平均ですんで、
2:19:24	やはりここでやっておかなきゃいけないことというのは、再現解析で、これ降雨条件を 2400 とした場合、この最大実績っていうのをカバーできるかどうかって比較が必要だと思うんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:38	あくまでも予測解析は、当然のことですが、既設Ⅱ管路を考慮してませんし、新設だけを考慮して安全対策工事っていうのは、
2:19:48	考慮されちゃってるので、もう比較対象に多分ならないと思うんですよね。
2:19:53	その辺って、
2:19:55	やはり再現解析で降雨量を上げたものが、今回最大実績と比べてどうかっていう比較をやっておくのが本筋じゃないかなという気がすましますけど。
2:20:07	いかがですか。
2:20:12	十分にPR少々お待ちください。
2:20:30	中国電力イハラですご発言の趣旨を理解しました債権解析段階で、
2:20:37	ですね好条件を保守的に2400mmにした条件で、
2:20:43	流用をせえ算定した結果と、
2:20:49	実際どう比較。
2:20:51	しますので、
2:20:53	はい。
2:20:56	ちょっとコメントあってそのまま残してちょっと細片化違わで、シントウの解析をやり直す方向で。はい。お願いいたします。はい。規制庁三野ですちょっとあれかもしれないですけど、解析やり直しになって申し訳ないんじゃないんですけど。
2:21:09	やはり比較ベースが合っていないので、これでいいかと言われると、いやこれ何の比較なんですかっていう話になってしまうと思うんですよね。
2:21:17	すいませんがちょっとご検討お願いします。
2:21:19	はい、渋谷です。了解しました。はい。
2:21:23	はい。私から以上です。
2:21:26	はい。
2:21:27	続きまして回答整理表ですね同じ2ページ目で、次から屋外排水の関係のコメント回答になります。屋外水道につきましては
2:21:39	一番肝となるコメントとしましては、
2:21:43	18番ですね2ページ目の18番、ええんです。
2:21:49	基本的に奥長谷部の考え方とか前提条件を整理するとともに、地震時の対応について整理して説明することと。
2:21:57	各部位の役割等の位置付けを説明することということで、聞いてもらって、受けております。補足説明資料の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:07	方の⑥番のまずはちょっとすみませんが、2 ページ目の目次をご覧ください。
2:22:14	先月前回ヒアリングの時に例えば屋外水路の側溝部の加藤神田とか、仮設ホースの方を設計方針があり、いろいろ入れてましたんで少しわかりにくい構成。
2:22:26	だった通り認識しております、まず補足資料 2 ページの補足する、補足説明資料の目次の参考資料の構成を変えました。
2:22:36	市としては、設計方針側力セ耐震性に係る設計方針のところ、
2:22:43	端的にまとめまして、それに関わる設計方針に関わる条文の影響だとか、例えば地下水が地表に溢れた場合の影響確認だとかっていう影響確認に関するものを参考資料 2、
2:22:55	2 取りまとめてます。
2:22:57	参考資料 3 と 4 で仮設ホースの手順だとか、自主的な対策としては、加藤管野側溝の敷設といったところで、ちょっと三宅を考え直して構成を見直しました。
2:23:10	この 18 番のコメントについてはしか参考資料 1 の説明の全体説明が終わった後に、
2:23:16	コメント 18 の良否を案内していただければいいと思います。
2:23:21	次、じゃあ、引き続き行きますまず、回答整理表の 1 ページをご覧ください。
2:23:27	まず、コメントとしましては、コメントナンバーで言いますと、1、一位、2 番と、
2:23:35	10 番。
2:23:38	はい。
2:23:38	コメント内容につきましては
2:23:42	まずコメントナンバーの一番でいうと、
2:23:47	地下水で仮設備からの排水と構内排水量との接続方法は、雨水排水に移す水箇所を説明することと、
2:23:55	2 番が、地下水排水の流れが理解できるように修正して説明することでコメントの 10 番。
2:24:03	が図中の水路勾配を追求すること。
2:24:07	というような基本的に地下水の水の流れ方についてのコメントです。で、
2:24:12	続きましてコメント番号の 3 番 4 番と 15 番になりますが、3 番 4 番が、
2:24:19	コメントとしましては敷地側集水枘の構造や地下水の排水経路。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:25	について適切か検討することや、4 番につきましては、ルート選定について最適ルートの考え方を整理して説明すること。続きまして、コメント番号 2 ページめぐりまして、15 番。
2:24:37	1 人 15 番で光ケーブルダクト内に排水管を通すことについての影響ないことを確認することということで基本的にこのコメントの趣旨としては、この排水ルートが適切かどうかといったところを説明しなさいというような、
2:24:52	コメントの趣旨でオダと思っておりますので、
2:24:55	回答該当ページとしましては補足説明資料の参考資料になりますので、
2:25:02	19 ページは 18 ページをお願いします。
2:25:10	はい 18 ページから、先月から少し情報量を変えた部分だけをご説明しますと、まず 18 ページの下の表の 2-1 で排水炉の概要と設備状況です。
2:25:22	一番上ですね衛藤オク橋田の側溝分、前回加藤菅を入れてましたがそれを削除してます。
2:25:28	あわせまして 19 ページ 20 ページで、同じ加藤間という情報を消しました。
2:25:33	次めぐっていただきまして 20 ページをお願いします。
2:25:37	はい 20 ページにつきましては上の図の 2-2 につきまして
2:25:44	即効勾配の情報を追記してございます。
2:25:51	はい。
2:25:52	これで基本的に排水ルートって話と水と屋外
2:25:59	雨水排水の流れと、ルートの
2:26:02	状況がわかるということでこれで、コメント 1 から 4 と、コメント 10 と 15 の回答をさせていただきます。以上です。
2:26:13	はい、規制庁チギラれず、それではコメント 1234、10、15。
2:26:19	はい。ずっと行って、
2:26:21	確認する点がある方。
2:26:23	お願いいたします。
2:26:27	よろしいですかね。
2:26:33	あ、すみません吉規制庁タダウチですけども 10、15 番については、
2:26:38	だから、光ケーブルダクトの中にはもう一切、水は通しませんよってそういうことでよろしいんですねここに書いてあるのは何か、ディール区間についてはとかあるんだけどこれをもってして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:52	そういった目的以外のところには流しませんっていうそういうことになりましたっていうことでよろしいんですかね。
2:27:01	はい中国電力イハラで生徒は
2:27:05	3月ぐらいのシェア資料ですね、19ページの断面図等でも光ケーブルダクト内に加藤家を通してっていうところも、
2:27:12	なったんですが、ちょっとですね、ダクト内のケーブルの重要性等々考えまして、はい
2:27:19	19ページの平面図の通りすべてVS側溝で15倍側溝の中で新設して側溝を敷設するという、
2:27:27	計画に見直しました。以上です。
2:27:31	はい、わかりました。
2:27:33	それでは、次の説明をお願いします。
2:27:37	はい中国電力の伊原です。続きまして回答整理表の1ページに戻りまして、
2:27:43	コンビニとしましては、5番と、
2:27:48	8番。
2:27:52	めくっていただきまして
2:27:56	21番。
2:28:00	すいません失礼しました。
2:28:03	5、
2:28:05	58
2:28:12	すいません、元イデすみませんコメント番号としましては5番とですね
2:28:19	7番と8番。
2:28:23	と、めくっていただきまして12番。
2:28:28	と、20番の回答をまとめていたします。
2:28:33	はいコメントの5につきましては側溝ダクトの損傷を想定した場合においても通じダムが確保されていることを説明することと、
2:28:42	コメント7番につきましては地下水位低下設備の設計方針でコア試料からの地表面の排水条件、放水槽等を追記して説明すること。
2:28:51	コメント8番につきましては仮設ホースの接続方法、折口側の構造について説明すること。
2:28:57	めくっていただきまして
2:29:00	コメント12番につきましては側溝の中に加藤間を設置する理由について地震時の対応が諸事情を踏まえて説明を追記すること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:09	はい。あとは 20 番です。仮設ホースの圧力損失を考慮しても、排水可能であることを説明することと、
2:29:17	ちようだいいたしましてます。該当するページとしましては補足説明資料の、
2:29:24	21 ページ。
2:29:28	からご覧ください。
2:29:32	と 21 ページから少し構成書いてましたのでちょっと構成の説明を要点だけをします。
2:29:42	えっとですね、3 ポツでオク社の地震時の対応方針ってことで、前は藤さんのコメントにつきまして MARK-I 区間ごとに分けてから説明するってことで、
2:29:52	まず 3 ポツ 1 が耐震性の確保をする区間ということで 1 区間あります。表 3-1 の通りこれは耐震計算書を作ってこれ今後ご説明する範囲と、
2:30:03	ということで、22 ページをご覧ください。
2:30:05	22 ページのほうで平面断面図をつけておりますが、この赤字で書いている部分につきましては設備的に整数機能を維持させて、地下水を配置させるというところの区間を明確化してございます。
2:30:16	23 ページからはその耐震性を確保する部分の設備上の取り扱いとして BC クラスということで位置づけるということと、
2:30:25	を整理してございます。
2:30:27	コメント回答に移ります 24 ページをご覧ください。
2:30:30	はい 3 ポツ 2 で当今で屋外柱の耐震性が確保されていない区間と、すでに区間の説明をします。まず 3 ポツ 2 ポツ 1 で
2:30:42	屋外排水の側溝部から敷地側集水桝までの区間ということで整理をしました。
2:30:49	25 ページの図を見ながら、ちょっと文章を読ませて、今読ませてくださいますが、3 ポツ 2 ポツ 1 の 2 パラ目からです。
2:30:59	側溝から地表面が降り出した地下水については揚水ポンプと揚水ポンプに徐々に押し出され、
2:31:05	大林の側溝部の周辺に、敷地に広がるのが想定されるが、耐震性が確保された敷地を浸水までに到達し、上部の開口から流下することで、運営の排水経路は確保可能であると。
2:31:17	なお排水の側溝部周辺に耐震性の低い放水槽等が存在するがそれに期待しなくても、地下水は敷地側集水桝から流下し海に排水されると。
2:31:29	いったところがコメント 5 番、12 番 7 番の反映でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:34	何、一番下のパラグラフでなお書き以降がコメント 8 番の回答です。地下水が増えた状態を継続させない対応として、地下水位低下設備、新設の揚水井戸内の配管に仮設ホースを接続し、
2:31:47	耐震性が確保された敷地が中心マツノ流路を形成するというので、
2:31:51	記載をしてございます。参考に飛ばしますので 4、通し番号 43 ページをご覧ください。
2:31:59	キドの一番最後が 2 番目です。
2:32:01	はい。
2:32:02	43 ページの方で参考資料 3 ということで仮設ホースの接続についてということで整理し、構成を見直しました。
2:32:11	下の図を、下の図の 1 の仮設放送の手続きの概要を見ていただきたいんですが、
2:32:16	基本的には系統が運転系統で赤が待機系統になってましてフローの通りですね、地下の事象発生の通り、事象発生という事で地下、地表面に地下水が溢れ出した時の状態が継続した場合、
2:32:30	ということで、①番から、まず仮設ホースの接続をして、2 番の大気タイ系統の弁の閉止をして、
2:32:38	仮設をその③の仮設ホースの接続をします。
2:32:42	次運転系統については起動のポンプを停止して、会計との本ボディを起動するといった手順を追記してございます。
2:32:51	コメントに 20 番の仮設ホースの
2:32:54	コメント 2 番の回答として、
2:32:56	43 ページの上の 4 行目からですね、仮設ホースについては圧力損失を考慮したものを選定するといったところを追記してございます。
2:33:06	合わせましてすみません別添側をご覧ください。資料番号の 5、5 ですね。
2:33:13	別添 1 の設計方針側の記載の反映というか反映っていうか、と合わせまして、24 ページ。
2:33:22	25 ページなんですけどまず 24 ページをご覧ください。
2:33:27	24 ページの 6 ポツ 3 に、国内水道の配水上流の措置ということでこの部分のところに、前回までは仮設ホースの接続で流量計、流量確保するというところの文章を削除。
2:33:41	してございまして 25 ページ。
2:33:43	の方で 7 ポツ 1 で運用管理の方針というところも仮設ホースのくだりを削除してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:50	はい。
2:33:52	以上でコメントを 5、12、七、八と合わせまして、
2:33:59	最後のコメント 20 の回答。
2:34:03	を終わります以上です。
2:34:05	はい。規制庁、日浦です。それでは今説明いただいたコメントの 5、七、八、
2:34:12	12、20、関して確認する点ある方、お願いいたします。
2:34:31	規制庁の服部です先ほどの説明で、私が 3 区間に分けて説明することって言ったというふうに聞こえたので、ちょっと 1 点だけ。
2:34:40	これでいいかどうか確認させてください。
2:34:47	補足説明書は 6 番。
2:34:51	6 番の 21 ページに 3 区間に分けて示すっていう宣言をしていて、
2:34:55	その下、3 ポツ 1 で 1 区間って書いてあるんですよね。3 ポツ 2.2 区間って書いてあって 3 区間で分けるって言うのに 2 区間しかないの で、多分この 3 ポツ 2 ポツ 1 が 2 区間で、
2:35:08	3 ポツ 2 ポツ 2 が 3 区間になると思うんですけどいかがですかどうぞ。
2:35:15	中国電力のイハラでさ、はい藤。
2:35:19	今私がちょっと、
2:35:22	うまく伝えてなかったと言います 3 ポツ 2 で耐震性が確保されていない 区間が 2 区間ありまして、3 ポツ 2 の 2 ポツ 1 の、
2:35:30	C区間と、3 ポツ 2 ポツ 2 で、海側のですね施設護岸側の排水度っていう ことで、
2:35:38	3 ポツには 2 区間ありますよっていうなイメージで今ここに向かって書いて ございます。規制庁の服部ですわかりました区間 1 区間に区間 3 じゃなくて、2 個の区間 1 の区間ということですねわかりました。ちょっと勘 違いしました。
2:35:53	結構です。はい。すいません。
2:35:57	規制庁のエザキですか。多分、
2:36:00	僕も、
2:36:01	コメン等ではないと思うんですけど、
2:36:04	コメント番号 8 の、
2:36:07	を読むとですね、いわゆるこの仮設ホースの接続方法と、出口側の構 造っていう構造なんで、多分
2:36:17	アダプターとかそういった構造みたいな話を確か女川へと書いていたん で、多分これってプラント側の審査官が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:36:27	どういうアダプターではめ込むのかという、その具体的なものを図面で示せて言ったので、この話があると思うんですね。なので、これはちょっと今回は、
2:36:39	方法論ということで 43 ページの、
2:36:43	内容にとどまっているので、
2:36:45	実際にこれが、その実現可能性があるようなもの、詳細設計なんで、今回は、
2:36:52	許可だったらこれ考え方で方針だけでいいと思うんですけど、今回詳細設計なんで、その部分をですね、どういった構造にするのかという具体的な、
2:37:03	行動図面見的なものをですね、示していただく必要があると思うんですがいかがでしょうか。
2:37:21	中国、中国中国電力の藤森です。仮設ホースに関しましてはですねまだちょっと、設計中でございまして、そこら辺の進捗を見ながら
2:37:34	図の方をご提出したいと思います。あとですね、ちょっと回答が中途半端だなと思ったのは、43 ページの下から 2 行目、
2:37:45	なお書きのところなんですけど、
2:37:48	許可ではないので、その圧力ホースについて仮設ホースにて圧力損失を考慮したものをうけるってということで、具体的に計算して、多分その圧力はどこまで止めるためにはどういう材を使うということ、
2:38:04	を言いたいんだと思うんですがその辺が実際に、
2:38:07	具体的に可能であるのかどうかその圧力、その
2:38:11	ソースっていうものが、これだけ深いところからくみ上げるときに、
2:38:15	ホースの圧力損失がどの程度止めれば、実際に水が運べるかっていうことを、
2:38:22	確認しいさせてくれて言ってると思うんで。
2:38:25	なるほど。より、
2:38:27	そこも考えて勘案してやりますということではなくて実際に具体的に、圧力損失オフを考えたとしてもこのフォースと、
2:38:37	実際のポンプ、揚水ポンプの能力からして、
2:38:40	水を
2:38:42	排水できるといった、
2:38:46	説明が要ると思うんで、その辺はいかがですか。
2:38:50	まだご検討中かもしれないんですが、一応これ回答にはなっていないんだと思うんですね、多分。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:56	とにかく、中部電力、すいません
2:38:59	どうぞ。はい中国電力の長田です。はい
2:39:03	すいません先ほど申し上げました通りまだちょっと設計を検討しているところがございますので、
2:39:11	今回、すいませんハウスイについては地表面を流すということで、念のための対策として、したというところまでちょっとこのような記載にさせていただいたんですけども、
2:39:22	ご指摘ご質問の件は江崎さんおっしゃられる通り、
2:39:27	ご質問受けておりますので、ちょっと繰り返しになって恐縮ですけども
2:39:33	設計を固めて、また別途ご説明をさせていただきたいと思います。以上です。ここに基本的には詳細、具体的な
2:39:44	話をされるということでよろしいですね。
2:39:50	はい。中国電力の長田です。はい。
2:39:54	もう少しか固まった状態で、段階で別途説明をさせていただきます。以上です。
2:40:00	なので多分今回コメント回答は、方針、考え方だけ示したということだけなので、
2:40:07	コメントは一応継続というところよろしいですかね。
2:40:18	中国電力の藤江です。はい、了解しました。コメント残して
2:40:24	対応を今後させていただきます。
2:40:26	規制庁の江崎です。
2:40:28	続いてですねちょっと懸念事項があるんですが、例えば 41 ページ開いていただいて地上排水が、いわゆる放水槽とか、
2:40:39	経営しなくても自主的な
2:40:42	雨水ます負とかフラップゲートがあるところもですね、流れ着くっていう話にはなってるんですが、
2:40:48	別に道路としては道路っていうかこの敷地としては勾配があるわけではないので、
2:40:53	基本的には、実際には主、水っていうか、取水っていうのは、
2:41:00	地下水位低下設備が中心になるんで、この円っていうのは、
2:41:07	全体的に広がるっていうことだと思うんですね。
2:41:10	そういう時にそうした検討で考えていただく必要がまずあって、
2:41:17	そうすると、基本的には、
2:41:22	先ほどの話でも出ていましたけど資料で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:27	いわゆる工事エリアがあって、工事エリアに水が落ち込んでしまうという話があって、
2:41:34	そこには水がちょ、
2:41:36	プールされちゃう形になると思うんですね一時的に。
2:41:39	だとしてもそこに関して、あく開く、そこに水を溜めたとしても悪影響はないということは、
2:41:46	説明し、された方がよろしいんじゃないでしょうか。
2:41:54	はい。中国電力の長田です。前回のヒアリングでも少しご指摘いただいたところでございますけれども、
2:42:01	はい掘削エリアとかその辺の影響はちょっと別途、別途別の資料で、あわせてご説明をさせていただきたいと思います。それから、
2:42:11	範囲の話ですけれども、はい。掘削エリアが若干
2:42:17	ページの
2:42:21	資料 6 番目のページの、
2:42:24	はい、伴猪野。
2:42:26	南側とかにもございますそれは先ほど申し上げましたように、ご説明をさせていただきます。範囲についてですけれども、
2:42:36	この説明資料上の左側、法面になっておりまして、それから、
2:42:45	右側は取水槽と構造物がいろいろタービン建物等ございますので、基本的には
2:42:54	地下水、井戸から溢れた水は、ある程度施工性を持って北側に流れていって、今想定しております敷地が集水柵の方向に、
2:43:04	流れていくものというふうに考えています。以上です。基本的にはですねその立坑がそういうことっていうかですね掘削エリアがある。
2:43:13	穴井都市下とならば、基本的には地下水位低下設備の新設のところから、
2:43:20	円の中心として広がりがあって、そこにプールされ、ある程度水がカセがたまっていった段階で、
2:43:27	いわゆるスイトウ勾配で基本的には、
2:43:34	何で集水柵ですか、の方に流れ着く。
2:43:38	とかですね、いうのは理解できるし、あと、
2:43:41	今考えている、実際の
2:43:45	排水炉があって、オクハヤシとかそれをどこかで切断して津団地が使えない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:53	水が流れないような状態になったとしてもある程度そこには水がたまっていてそれを、その
2:43:58	降雨乗り越えていくっていう形も考えられるんでそちらの方に海に向かって流れていくは理解はできるんですけど、
2:44:05	ただ広がる範囲っていうのは、もっと大きい広い範囲が広がるはずで、
2:44:10	それは、
2:44:12	考慮した。
2:44:14	考え方でやっていかないと、何となく恣意的に見えるので、
2:44:19	都合よく書いてるよかのように見えるのでそれはですね他サイトも確か、
2:44:24	その主水源っていうのは広い範囲。
2:44:27	椅子を申請するっていう審査員は示していると思うんですね。
2:44:31	その上で、実質的には、
2:44:34	海側に流れていくっていう、スタッフになると思うそうしたときに広い範囲にどのぐらい水がたまるんかっていう話で、そうしたときにそう。
2:44:44	工事エリアも含めてですね、
2:44:47	悪影響をもたらさないのかっていうことを確認しないといけないと思いますんで、
2:44:51	そこはちょっとですねもう一度、
2:44:55	検討いただく、いわゆるですね浸水範囲は、
2:44:59	うん。
2:45:00	どこまでかせ計算でしないんであれば、基本的に言うと、あると。
2:45:06	アンゼンガワ二範囲を広げて考えて拡大する必要があると思うんですがいかがですか。
2:45:12	はい。中国電力の長田です。ご指摘の通りの灰掘削エリアにつきましては、
2:45:23	はい。それを考慮したものを別途ご説明させていただきます。ちょっと答えになってなくて、基本的には、3
2:45:31	新設の地下水位低下設備のところ、基本的には水が、
2:45:37	出ていくわけですから流出するわけですからそこを中心にして、
2:45:41	範囲が広がっていくわけですね。
2:45:45	でその中で、どういう考え方に基づいてこっちに流れるか、例えば、
2:45:51	工事その深さって掘削深さまでは存じ上げてないですけども、その中である程度、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:59	この紙面の下の方には流れつかない形でそこでプールされる状況になっていて、
2:46:05	という話で総務以外のものは、海側に流れていく。
2:46:09	だからそこがいっぱいいっぱいにならない限りは中央面までに達しないまではこういう状況になるっていうのは理解できるんですけどね。だから、どういう前提条件で考えてるかとか、
2:46:20	ちゃんと話をしないとわからないと。だから、うん。
2:46:24	言ってることわかりますよね。
2:46:26	中国電力伊賀です発言の趣旨を理解しました基本的には用水とかを中心にして、返上変更上にこう広がっていく中で、
2:46:36	南側には安全対策工事の基礎掘削をやってますんで、実際水が落ちていってその円弧を考えると、水墨画が多分増えると思いますんで、
2:46:46	あととしてのまず 8.4 番の
2:46:50	宗伊佐阿武レベルエリアの考え方をまた整理しまして後、
2:46:56	また頭も言いましたが、5、基礎掘削工事に伴う
2:47:01	現状建物とタービン建物の影響まで含めて、すと整理してまた別の機会でご説明いたします。工事そのエリアにいっぱいいっぱい。
2:47:10	ただそのあとどうなりますかっていう話だけどそいっぱいいっぱいになるまでにはさっきの仮設ホースつなげて流せるように、時間的な余裕がありますから、ということを示した上で、
2:47:23	それ以上の広がり、
2:47:25	オダないようにしますとかですね何かそういう説明がないとですね。
2:47:29	何となく、
2:47:33	実現性がちょっと見えてこないと思いますんで、もう少しですね。
2:47:37	ご検討いただいて、自主的に、そうした場合、実際に、
2:47:43	僕が入ってる方が、一応
2:47:45	水路が寸断してしまったような状態があったとしても、もうある程度、大きな波及的なものはないんだっていうことがちゃんと説明できるようにしていただけますでしょうか。
2:47:58	はい中国電力の長田です。はいご趣旨理解いたしましたいろいろ。はい。申しあげましたけれども、ちょっと前提として
2:48:08	今、掘削エリアは別で説明すると申しあげましたが今この用水道があるところから、下側が敷地で段差があるところになっておりましたのでちょっとそういう前提で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:21	この資料は作っておりました。はいちょっとそこら辺もちょっとわかりにくいので、はいちょっと整理をして説明をさせていただきたいと思います。以上です。
2:48:31	よろしくお願いします。続いてですね例えば
2:48:37	掘削エリアに水がたまっただとして、
2:48:40	タービン度原子炉建屋内に入るんですかっていうと確か。
2:48:45	この地下水位低下設備を期待しなくても、
2:48:49	止水措置をしてるから水が入らない地下水は要らないっていう処置はしてるはずなので、
2:48:54	いわゆるそういった影響もない、ちゃんとそういったこと、いわゆる、
2:48:58	溢水とか
2:49:02	耐津波の話でも出てくるとは思うんですけど、近づいてきて、地下水じゃなくて地下部の、
2:49:10	地下水の流入ですか、の対策の話ですねそことも絡めてですね、どういう波及的な影響があるのかわからないのかをちゃんとしっかりと、
2:49:21	書いていただき、ご説明いただけますでしょうか。
2:49:26	はい中国電力の長田です。別途屋外タンクの溢水等でも、はい。同様のコメントをいただいておりますので、はい。それもあわせてご説明させていただきたいと思います。以上です。
2:49:53	はい。規制庁寺田です。
2:49:55	今、そうしますと、今は5番7番8番、12、20で、
2:50:04	一番と、
2:50:06	20番については継続ということで、2番継続で。はい、わかりました。他は塗料なんですけど、
2:50:13	今のところで何か確認する点ありますか。
2:50:17	はい。
2:50:18	よろしく。よろしゅうございますのでじゃ、次の説明をお願いいたします。
2:50:24	はい中国電力の伊原ですでは補足説明資料のページで言いますと26ページ、26ページをご覧ください。
2:50:32	3ポツ2ポツ2で、
2:50:35	区間の次の方なんですけど、出口側集水柵から海までの区間ということで説明になります。コメントとしましては回答整理表で言いますとコメント、1ページ目のコメントの9番、
2:50:49	と、めくっていただきまして21番。
2:50:52	になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:53	まず 9 番のコメントが出口が修正前から海側の排水施設護岸側が閉塞した場合におい、おいても確実に排水可能であることを図示して、
2:51:03	説明することということにコメント 1 点コメント 21 番が、
2:51:07	排水量の排水能力を評価して説明することに意見いただいています。
2:51:12	補足説明資料の 26 ページで 3 ポツ 2 ポツ 2 で A の真ん中ほどに、図 3-3 で、
2:51:19	排水イメージを追加してございましてまず右が海で、左側が敷地側になりまして、
2:51:26	海側のオク社逆止弁までが耐震性を維持する、YES 機能維持する区間でして、施設護岸側は耐震性がありませんので、
2:51:37	仮に地表面から敷地側から溢れたものは、徐々に敷地が集水枡かたにたまっていて、逆止弁末にも溜まっていて、
2:51:45	アノは、海側が落差がございまして、
2:51:50	仮にその施設護岸側の柱が計測した場合においても、
2:51:55	排水の逆止弁のマツノ上から流れると。はいマツノ上はですね基本的にイケダに交番があつて開口を設けますのでその開口部から流れるっていうイメージを
2:52:07	追加しましたこれがコメント 9 番の回答になります。
2:52:10	続きましてコメント 21 番ですね、26 ページの(1)で出口側集水枡からの排水確認ということで 27 ページをご覧ください。これでですね
2:52:23	基本的に基本的には入口側と H 出口側の損失水頭の高低差で、
2:52:31	出口側の方に流れるっていうのを確認してございまして。27 ページのカッコ 2 の計算モデルなんですけど図 3-4 に示してございまして、
2:52:41	条件としましては耐震性が確保されていない既設アイス色は地震時に閉塞した状態を仮定しました。
2:52:48	図面の左側が陸側で飲ますから地表面から、ポンプの 1 系統の流量で毎秒コンマ 12 立米が水が入ってくるという条件にしまして、
2:52:59	防波壁の逆 T 擁壁の下の排水量これ断面が二つございまして、
2:53:05	に流れて、右側ですね、これ合わせる逆止弁が取り付けられています。
2:53:10	の開口から流れるっていう条件で
2:53:14	計算をしました。
2:53:15	はい、イデ 28 ページをご覧ください。
2:53:19	28 ページの方が(3)で計算方法になります。
2:53:23	先ほどご説明しました図面のモデルからですね、これは支障物を跨ぐような排水設備で用います布施越野。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:30	それについてのそういう水道の式が下水道施設計画して、設計指針で ございますんでそれを用いて算出してます。
2:53:37	式なんですけどH=Iかけるってのが摩擦損失水頭で、
2:53:43	に自分V字状のところで速度、
2:53:47	水稲、
2:53:48	とちょっと資金の下にありますけど、データでかけてますがこれが、9画 とか9縮を考慮した補正の1.5、1.5。
2:54:00	をかけてます。プラスですね $\alpha$ っていうのが、余裕量としてむこセンチを 採用してございます。
2:54:07	この式の式のちょっと部位の排水の流速をご覧ください今回の計算に おいては、流量が1、コンマ12立米に対して、排水の断面が結構大き いので、流速については、
2:54:21	毎秒2センチから35センチ程度の比較的遅いという、
2:54:26	条件になってましたので、結果的に措置等はあまり出てないという結果 になってまして、(4)で損失等の計算結果ということで、
2:54:35	約0.0503メートルとなってまして基本的には、
2:54:41	出口が集水枘の7.7円盤から排水可能であって、であることを確認して ございます。以上でコメント等、
2:54:49	21の回答を終わります。
2:55:07	規制庁のハツリです。
2:55:09	21番については、基本的に了とします。
2:55:13	ただ何点か確認だけ事実確認だけさせていただきます。
2:55:16	まず1点目は、28ページの、
2:55:20	各感応摩擦損失水頭いわゆるHのFAとかH-FBとかHのFCなんです けど、
2:55:27	これは通常のレイノルズ係数を使ったシキイから求めたということによ ろしいですかどうぞ。
2:55:35	はい。中国電力の早田です。先ほど羽鳥さんがおっしゃられた通り、
2:55:40	そのような方法で算出しております。
2:55:43	規制庁のハツリですはいわかりました。あと1点なんですけれども、
2:55:48	屋外排水炉の
2:55:54	側溝分については、基本的に閉塞して地表面に流れても、排水が可能 なので、排水能力の評価は必要ないという考え方でよろしいですかど うぞ。
2:56:17	中国電力の伊原です。衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:56:19	排水能力だんです側溝の水能力の、
2:56:23	は、側溝のあれですか排水能力についての確認という趣旨でございますが、
2:56:29	すみません、規制庁の服部です。屋外排水量括弧側溝分というところも、基本的には平常時であれば、そこを水が流れるわけなんですよね。
2:56:40	0.12 立米/secの水が流れるということで、これがですね例えば耐震性を持って壊れませんよということで閉塞しませんよということであれば、
2:56:50	排水能力も基本的に大丈夫でしょうけど、一応計算する必要があるかなと思ったんですけど、ここでは、
2:56:59	閉塞しても、地表面からな、地表面に溢れて、排水できるので、排水能力は別に評価しなくても、
2:57:10	きちんと排水できるということで、ここは評価が必要ないという考え方でよろしいですか、ということ聞いています。どうぞ。
2:57:20	はい中国電力の伊原です衛藤。
2:57:23	えーとですね、44 ページ、一番最後のページなんですけど基本的に中部電力としましては、VS側溝の中に加藤顔をしてから加藤間の排水能力を確認してございまして、
2:57:36	ここは側溝の排水能力は、確におっしゃる通り、通常の雨水排水も入ってくるんですが多少は、
2:57:42	工認で説明説明することではないなっていう案判断でそこまでは説明はしてません。
2:57:50	以上です。
2:57:52	はい。中国電力の高松です。少し補足させていただきますと前回の議論でありました我々がこの一連の系統の中で、説明する耐震性含めて、
2:58:04	排水能力含めて説明しきる範囲がこの二つのマスをもた、横断する区間についてということなんで、先ほど羽鳥さんがおっしゃった趣旨の通りで、
2:58:16	排水能力についても、今回はこの区間をターゲットに評価をさせていただいたという、そういう流れでございます。で、44 ページにもあります通り、それ以外の区間については自主的な対策ということで、位置付けをちゃんと明確化して、グレードを落としたというふうな整理を今回させていただきました。以上です。
2:58:35	規制庁の服部ですはい。あくまでも排水能力の評価は、排水耐震性をもって排水が可能な区間だけやればよいということで、それで両者理解をしていますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:47	わかりました。ということに、で、21 番については了といたします。私から以上です。
2:59:02	すいません規制庁タダウチですけども、
2:59:06	27 ページ 28 ページの、
2:59:12	ところで、
2:59:15	27 ページの図でいくと、左側の廃水路が閉塞してます。右側の海側の排水量も閉塞してます。
2:59:27	これでいくと逆Tのところの下を布施越野、いわゆる施工シタイプでいきます流し、海側に流しますよって話になるんですけども、
2:59:42	すいませんこの布施越野ねやつん 28 ページの方にあるんですけどもこれはこれでね。
2:59:48	布施越野式使っていただく内向に構わないんですが、
2:59:52	すいません布施越にはフラップゲートってついてたんですけど。
2:59:56	ついてないよね。それでね、フラップゲート自体も会議を開く条件が確かあったと思うんですよ。その分で、
3:00:08	この水頭差 0.8 メートルが十分なのかどうかという評価をされ、
3:00:14	出ますかね。そこをないと。
3:00:17	もう少なくとも、
3:00:21	海の方を流れていくのに 0.8 メートルのスイトウさんに打ち内方ないと流れていかないって条件になってしまって、
3:00:31	確か女川の方はこんな海側に立坑ないわけですよ確か。
3:00:36	地上さだけでね、フラップゲートの先は海になってたはずなんでねそれで津波が来た場合はここが閉まります。通常はここが網を開きます。
3:00:46	それでどんどん流れていくんです。それはすごく単純で理解はできるんですけども、
3:00:52	この場合、水没されたピットの中にフラップゲートが入っているって条件のところ、これ理論値なんだけど、雨水 0.8 メートルでちゃんと開いて、
3:01:04	しかも、それなりの所要の流量が流れていくのかっていうところについての評価って、何かやってるんですか。
3:01:18	はい。中国電力の早田です。フラップの損失につきましては、同じく下水道の指針に載っております、今回の流量条件であります 0.12 立米。
3:01:31	／secで計算するところ、コンマ
3:01:35	5mmっていう世界。
3:01:38	の損失だったんで今回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:41	敷地側と出口側のマツノ、高低差 0.8。
3:01:46	あれば十分に流れると考えております。
3:01:50	あ、すみません、規制庁タダウチですけどもフラップゲートの開度によって、流量が抑制されるはずなんで 0.12 立米が、
3:02:01	流れるフラップゲートの開度に対してそれは水頭差大丈夫なんですか。僕はこの 0.12 立米/secっていうのが、
3:02:11	の条件がそのまま成立するかどうかちょっとわからないと思ってるんですけど評価してるんですかね。だって、フラップゲートの開度によって流量がだって変わってくるわけですよ。
3:02:23	それは最低限ちょっとでも開きますよっていう話で言えばそうなのかもしれないですけど、0. 一二でどれくらいの開度でその開度が開くのはどれくらいの。
3:02:32	要は圧力SOAアノ圧力差が、圧力損失相当があればいいんだとかいうような話はやってますそれに対して十分余裕があるとかね。
3:02:44	そこら辺はどうなんでしょう。
3:02:49	いわゆるここチェック弁とか何か弁みたいな感じになっちゃってるわけですよ。変な話、それに対してどう評価してるんですかっていうところの話だと思ってます。単純な圧力損失のだけの話ではなくなっちゃってんじゃないですかねと。
3:03:04	いう感じですけど、これがアクティブに何か程度で何かこう無理やり変えにできるんですよという話であればまた話は変わってくんです。そうするとまた運用の話で津波来た時にそれどうすんだみたいな話も出てくるんですけども、
3:03:17	そこら辺のお考えはどうなんでしょうか。
3:03:28	中国電力の伊原です。衛藤。言われた通り、ずばり、何ですかね
3:03:36	今回あれですねあんまり損失しないんで水位差をないな状態でないんですけどもご発言の通りですね、実際弁が開くかどうかという、
3:03:47	確認はまだしてございませんので、
3:03:49	ちょっと答え方を少し考えたいと思いますが、
3:03:54	だから、今月に立米の流量で、
3:03:57	弁が開いて流せるかっていうことについて少し
3:04:01	説明を追加したいと思います。
3:04:05	以上ですはい規制庁忠願いたします。0.1 イデから毎秒 120 リットル流れるっていう話になってきてるんでそこがちゃんと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:16	それなりのものが確保できるっていうところは、何らかの評価をしていた だきたいと思いますそれとちょっとすいませんついでにちょっと聞くんで すけれども。
3:04:23	27 ページのねところのあの区間Bとかなってるところはどこ。ここは何な んですかこれ、何か段差がついてるんだけれども、これ一体何なんでは ょう。
3:04:35	中国電力の伊原ですこの段差は、まず、上、上下流方向の区間AとCに ついては、
3:04:43	ボックスカルバート状の排水でけを、内腔断面が違うところで、
3:04:50	これは何か
3:04:51	逆T擁壁を建設する前の、過去にあった手術言います。
3:04:58	現在これ取り壊してる状態で、今現実としてはこのような状態なってま す。
3:05:04	当間区間Bの 2.235 掛け 3 メーターというのは 3 メーターというのを、奥 行き方向なんですけど、そういった寸法を考慮して、損失を出していたし ました。
3:05:15	以上です。規制庁ただしそうずっとこれが、既存のものとしてすでに存 在するものを流用して、ここに双方からつなぎこみに行ってるっていうそ ういう話があるので、こういうものが存在すると。
3:05:30	いう話になってるっていう考え方ですね。
3:05:34	はいそうです。
3:05:38	最終的にはここは成績の良い時って話になるとこれも含めてそこら辺を きちっと説明していただくということになろうかと思えますけれども、
3:05:50	は 1 億円分の言い方ですはい冒頭耐震性が確保されているか腐れす る区間ということで、排水炉の耐震評価結果は、
3:05:58	はい。準備でき次第ご説明させていただきます。以上です。はい。よろし くお願いします。
3:06:09	はい、規制庁チギラえず、コメントの 9、21 関連、よろしいですかね。は い。では次の説明をお願いいたします。
3:06:20	中国電力の伊原です
3:06:22	次のコメント回答なんですけど補足説明資料の次 29 ページ。
3:06:28	ちょっとヒアリングぜ前は、前段でお話しましたコメント会から回答整理 表の、
3:06:36	2 ページ目の 18 番です。
3:06:40	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:42	29 ページの方でまとめとして、各区分における地震時の影響とそれに対する右側で排水経路の確保方法ということで取りまとめて資料を参考資料 1 として
3:06:55	整理をしました。
3:06:56	これで、我々としては、コメント 18 の回答として資料参考値で一応、市全体としてこのように整理したということで、
3:07:08	考えていますこれがこのエンドウ 18 番の回答になります。
3:07:12	以上です。
3:07:16	とりあえず、今の点について確認する点をお願いします。
3:07:25	はい。とりあえず、コメント 18 については了としたいと思います。では次をお願いします。
3:07:31	はい。ありがとうございます少々お待ちください。
3:07:36	主
3:07:51	は 1、中国電力の伊原です続きましてコメント番号で
3:07:58	6 番ですね、6 番と、コメントのめぐりまして 14 番。
3:08:04	19 番の回答になります。
3:08:08	コメント番号の 6 番につきましては、
3:08:12	地下水が地表面に溢れた場合の重要施設への影響について整理して説明することと。
3:08:17	いうところと、
3:08:21	14 番が、屋外タンクと、タンクの溢水と排水の地下水が同時に溢れた場合の影響を説明することと。
3:08:30	いうことと、最後、
3:08:34	20 番。
3:08:36	すいません。
3:08:38	次。
3:08:39	19 番ですね。はい。
3:08:40	最大浸水に対して建物の外周扉等の設置位置への余裕が少ない一律地点については防護対象の影響を具体的に説明すると、その 3 件になります。
3:08:51	はい。補足説明資料は 33 ページになります。
3:08:56	33 ページの 3 ポツで地下水が地表面に溢れた場合の影響確認これ参考資料 2 と 9 で営業確認関係になります。
3:09:06	まずですね 33 ページの方で(1)で地下水が地表敷地内に溢れた場合の浸水深の想定をしてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:14	これは用水道は地下水低下設備から地下水が地表面に溢れて、平たんな敷地に広がって、
3:09:22	場合の浸水深の想定をしてございます。
3:09:27	一色のNAと、すいません。まず浸水深の出し方なんです、
3:09:34	中ほどに堰の流量格子これ整理整備公式集の堰の流量公式を用いまして、
3:09:39	浸水深日を出してございます。
3:09:42	Qは流量ですね、流量はポンプ、揚水ポンプの排水能力Cについては、
3:09:48	防災調整地等、技術基準案の流量係数、施工時のツケ形成形状の不良布施による流下能力の低下を考慮して1、1.8を採用しまして、
3:10:00	あとBですね、越流幅につきまして左側のように赤字で書いてますが、
3:10:05	敷地側の集水柵の上部にはグレージングを設けまして開口寸法は2.4掛け1メートルのところ、開口4点あるんですが3点、保守的に3点からの流下を想定して、
3:10:17	Bを設定しまして、結果、
3:10:20	約7センチという浸水深というのを設定してまして、34ページをご覧ください。
3:10:27	先ほどちょっと江崎さんから言われて少しその浸水想定範囲を見直しますが、(2)で敷地内の浸水範囲を想定してます。
3:10:37	はい。
3:10:39	考え方はもうちょっとコメントいただいたんであれなんです、ちょっと図3-2において
3:10:46	範囲を設定してですね、範囲はまた後日整理しますが、溢水防護区画を緑で
3:10:54	囲っています。あとアクセスルートの要員、車両とサブルートっていうのを落とし込んで、
3:11:01	落とし込んで、医師浸水想定範囲について、重要施設やアクセスルート等の情報をここに追記追加してございます。
3:11:11	35ページをご覧ください。
3:11:16	はい。これがコメント回答になりますが、3ポツで屋外タンク等からの溢水評価の影響についてということで、これ前回から変えてませんが、上の1パラ目が方法ということで、
3:11:27	先ほどご説明しました浸水深7センチと、あとタンク溢水ですね、タンクについては、保有水量もありました水量を用いて、
3:11:37	屋外排水等は期待せず浸水深を評価するところを足し合わせて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:42	営業部も確認してございます。
3:11:45	2パラ目がコメント19の回答です。
3:11:49	後程表が出ますが地点4のタービン建屋、谷内電力のタービン建屋と1.8の取水槽については、浸水深として7センチを加えた場合に余裕が小さいと。
3:12:01	しかしながら地点4と6についてはタービン建物に防護すべき設備がなく、またタービン建物に容量、容量堰を考慮すると。
3:12:10	万が一タービン建屋に入院したとしても、隣接する
3:12:14	形状建物等の溢水防護区画に影響はないと。
3:12:18	また地点8については高さ2メートルの防水液を設置するため、溢水防護区画への影響はないということで記載を追記しました。
3:12:25	めくっていただきまして、3637、36ページにつきましては、
3:12:32	この必須浸水する想定範囲の中の、
3:12:37	溢水伝播挙動評価の評価地点とは溢水防護区画っていうのを明示明確にしまして、
3:12:42	めくっていただきまして30、
3:12:45	9ページですね。
3:12:47	39ページ、表3-1をご覧ください。最大浸水深の表なんですけど、それに下の方に注記を加えて先ほどご説明した文章の、
3:12:57	余裕がないところについての説明の不足を
3:13:01	してございます。
3:13:03	これ以上でコメント6、1049の回答といたします以上です。
3:13:10	はい。規制庁チギラです。それでは、今説明いただいたコメント6と、14、19についてお願い
3:13:27	規制庁の服部です。
3:13:29	これ14番については、継続とします。
3:13:33	継続阻止する理由として、すいませんもうはっきりとしてくださいということを書いてしまいます。
3:13:42	まず、
3:13:43	表の3の39ページ、表の3-1。
3:13:48	これについては、まず、
3:13:52	溢水伝播評価による最大水深すいすい最大水深、これをまず書いてください。
3:14:01	その最大水深については、溢水のこういう資料から持ってくるということでそっちを見に行けばわかるように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:09	してください。
3:14:11	その横に、今回の7センチ、
3:14:16	地下水位低下設備の排水によるし、推進、
3:14:20	これを書いてください。
3:14:22	その隣にその合計値、いわゆるここで言ってる最大水深02。
3:14:28	これを書いてください。
3:14:30	その隣に水密扉の高さ、
3:14:34	を書いてもらって、
3:14:36	その隣にその差分、
3:14:40	水密扉との差分を明確にしてください。
3:14:44	その差分がに対して、評価○とか×とか、そういう評価をしていただきたいということで、少しもう少し、
3:14:55	この表を充実させて欲しいんですけどいかがですかどうぞ。
3:15:03	はい。中国電力の長田です。ご指摘の趣旨、理解いたしました。はい。ちょっと今の表にはですね今最大浸水深というところは、
3:15:14	すいません7センチを足していないものを書いていますこれが溢水で出た結果でございます。服部さんのご指摘踏まえまして
3:15:24	排水での浸水深それから、先ほどの7センチが
3:15:31	水密扉等の下端とか、
3:15:34	扉の下端等に対してどうかということで表をつくり直したいと思います。以上です。規制庁の服部ですはいよろしくお願いします。
3:15:43	35ページお願いします。
3:15:46	35ページの中程2、
3:15:48	タービン建物には防護すべき設備がなくて書いてありますけど、
3:15:53	これは正しいのでしょうか。
3:15:56	私の認識では、
3:15:58	防護すべき設備はあるけれども、
3:16:01	没水しても影響がないことを確認されているだけで、
3:16:06	防護する設備がないわけではないという認識だったんですが、
3:16:10	この認識に対して、説明お願いしますどうぞ。
3:16:15	はい。中国電力の長田です。設置許可段階等購入中でちょっと少し表現を変えています。
3:16:25	まず、まず溢水ですので、
3:16:28	技術基準規則で言いますと12条、
3:16:31	これの中で、今回

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:16:35	工認段階ではSA設備等も明確にして入れてきておりますのでそういう観点で、1 防護対象設備と呼んでいたものを防護すべき設備ということでちょっと今後変えて、
3:16:47	いますのでその言葉を使っています。
3:16:52	ですね防護すべき設備というのは、今ご指摘ありましたように、
3:16:58	溢水で濡れてもよいと、ちょっとまた津波側の別の観点で、
3:17:06	津Sクラスのものとかは防護対象になっておりますけど溢水の方では、はい
3:17:12	服部さんが今おっしゃられた意味合いで防護すべき設備として、
3:17:18	要は濡れては、
3:17:21	いけないものがないという観点がこの言葉を使っています。以上です。規制庁の服部です今の説明だと、
3:17:30	やはり防護する設備はあるけれどももう想定破損による溢水に対しては、影響がないということであれば、
3:17:38	防護すべき設備がなくて書いてしまうと、語弊を招くような気がするんですがいかがですかどうぞ。
3:17:47	はい中国電力の長田です。
3:17:49	前段、前段と申しますか他で、
3:17:53	溢水とかの方で定義してる言葉をちょっとそのまま使って、
3:17:57	てしまっているところがあってわかりにくいところがありますので、ちょっと表現を考えたいと思います。以上です。規制庁の服部ですはいよろしくお願いします。
3:18:07	それとその次なんですけれども、
3:18:09	タービン建物の容積を考慮すると、万が一侵入しても、影響はないと書いてあって、これは定性的には非常によくわかります。
3:18:20	ただ、
3:18:23	詳細設計なの
3:18:25	本当にこういう漠然とした評価で、影響はないという評価でいいのかなってというのが少し気になっていて、
3:18:33	例えば、これどれぐらい。
3:18:36	タービン建物の中 2 浸水するかというのは、何らかの方法で出たりしませんか。例えば、
3:18:48	溢水伝播表、伝播評価をやっているのであれば、
3:18:53	何か時刻歴みたいなのが出てきて、
3:18:55	タービンの水密扉の低迷を超える部分の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:03	時間、
3:19:07	超えた分と7センチを足した分の流量が入ってくるような感じで、計算してどれぐらい流量があって、それぐらいの流量がタービン建物の中に入ると、非常に広大な
3:19:21	底盤面積ではあれば、ほとんど数ミリですよとか、
3:19:25	そういうような評価ってできないのかなあと思ってるんですが、
3:19:29	できなければこれでしょうかがないなと思ってんですがいかがですかどうぞ。
3:19:34	はい。中国電力の長田です。はいこちらとしましても、できるだけ定量的な評価をというふうに思っております、
3:19:43	他の椅子飯野アノ、純粋な屋外タンク水の方では一部、
3:19:53	そのような越流の式とかを、
3:19:56	で計算してこの程度しか入りませんとかそういう説明をしているところもございます。
3:20:01	今回のところはですね先ほどの資料の6番の39ページで、拡充を言われた表の3-1のところですけど、
3:20:12	ここが最大浸水深②と申し上げましたのが、いすイデの屋外タンク溢水での伝播挙動解析の結果です。
3:20:23	これにこんな
3:20:25	失礼しました、0.07メートルの7センチを足しましても、実は
3:20:33	ちょうど1.4とかでありますと、ちょうど8.8と同じ数値で
3:20:40	先ほどの昆、07とか0.23とかも切り上げた数値でございますので、定量的にどれだけ超えるってのは実は超えていないと。
3:20:51	ということです。ここに対して
3:20:54	文章の中では万が一超えたとしてもというような記載にさせていただいたというところで、ちょっとご理解をいただければと思います以上です。
3:21:04	規制庁のハトリですはいわかりましたけど、今長田さんがおっしゃられたような、ほとんど
3:21:14	越流しないんだよというニュアンスのものを
3:21:18	文章の中に、練り込みながら、記載するってことはできるんですかねちょっと、
3:21:26	ちょっとわかんない麻生そういう文章がつかれるかどうか少しわからないんですけど、もう少し説明を拡充するってことはできますからどうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:34	はい中国電力の長田ですはい。硝酸の1で先ほどの服部さんのご指摘を踏まえて修正しますとその辺もよく見えて、数値的にも見えてくると思いますし、
3:21:44	ちょっと文章の方でも書き込めるかどうかちょっと検討してみたいと思います。以上です。規制庁の服部ですはいわかりました書き込めるなら書き込んでください。あと最後になります。
3:21:55	1.8については、1.8から12もそうですけど2メートルの壁がありますという表現があるんですけど、
3:22:04	やはり確かに、水の方の資料を見に行けばわかるとは、前回言ったんですけど、
3:22:10	この資料においても、
3:22:13	どこにどういう壁があって、どこから水がどう来るから、
3:22:18	どういうふうに、その水をこの壁で防止できるのかというのをですね、
3:22:24	図面を
3:22:26	ポンチ絵でも結構ですけど、含めて何かこう、この資料の中で、
3:22:32	明確になるような説明ってできませんか例えば溢水側から転記してきてもいいんですけど、いかがでしょうかどうぞ。
3:22:41	はい。中国電力の永田です。
3:22:44	はい。
3:22:47	防水液位のアノ断面等を示してご説明を追加させていただきたいと思います。以上です。規制庁の服部です断面よりも、
3:22:57	むしろ平面図かなあ。
3:22:59	というイメージを持っていますがいかがですかどうぞ。
3:23:05	はい、中国電力の長田です。平面図という観点で申しますと、
3:23:11	参事、同じ資料の36ページですねこちらに
3:23:16	A地点の先ほどの8、12、13、紡績があると記載しておりますが、
3:23:26	断面と申したのは、縦方向の水に対してこんな高い壁があるんだということがわかった方が良かったかなと思って断面と申しましたが、
3:23:38	背弧の、
3:23:40	図とかに高さを追加するとかそういうことも、
3:23:44	の方が、
3:23:46	そういうイメージでよろしいでしょうか。
3:23:48	規制庁の服部です。わかりました。ここは緑わあ、溢水防護区画って書いてあるだけなので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:57	ここに壁があるというのは、この資料から理解できなかったもので、少し私も理解、それ、それ、これを書いてくださいと言おうと思っていましたが、
3:24:09	ここに書いてある要するに平面的な 1、2 メーターの壁の位置はここに ありますということは、これでわかるということによろしいですかどうぞ。
3:24:19	はい中国電力の長田です。ご理解の通りでございます以上です。
3:24:24	規制庁のハットリですはいわかりましたちなみに、取水槽の方はわかる んですけど、
3:24:29	地点 12 と 13 は、これは何を防護してるんですかどうぞ。
3:24:38	はい。中国電力の長田です下に、12 と 13 の
3:24:44	地点の名前が書いてありますが、はい。のディーゼル燃料移送ポンプ からディーゼルの燃料移送ポンプを防護しています。以上です。
3:24:55	規制庁の服部ですここは、
3:24:58	常時開講開口になってるということなんですかどうぞ。
3:25:05	はい。中国電力の長田です。
3:25:08	そうですねもともとは開口になっていたのだからそこに紡績、
3:25:15	をつけていると、そういうことでございます以上です。はい。規制庁のハ ットリですはいわかりました。何らかの理由でふたではなくて、壁で、水 の流れを防止してるということで理解しました。
3:25:27	私からは以上ですが先ほど言ったようにもう少し、表とか、そこら辺の節 文章の記載、説明を拡充させていただきたいと思っておりますよろしいです かどうぞ。
3:25:40	はい。中国電力の長田です。念のため確認ですが図の件は先ほど場所 わかるということではい。表の拡充と。ええ。
3:25:53	これで入っていかないというようなことを文章の検討をさせていただき たいと思っておりますよろしいでしょうか。規制庁のハットリですはい。それで 結構ですということで 14 番は継続にいたしますよろしく申し上げます。
3:26:06	はい。中国電力の長田です。対応させていただきます以上です。
3:26:16	はい、次の事業 A と 6 番と 19 番。
3:26:21	大丈夫そうですかね。はい、では、69 については了としたいと思いま す。それでは続いて、図、説明をお願いいたします。
3:26:32	はい中国電力のイハラです続きましてコメント回答整理表のコメント番 号 13 番になります。
3:26:39	内容が地下水が日曜日が増えた場合のアクセスルートへの影響につ いて記載不足することと、いただきまして補足説明資料の 40 ページ、 41 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:26:50	3 ポツにアクセスルートの通行性の影響ということでまず 1 パラ目の方が先ほど生産しました浸水深 7 センチについては、
3:26:58	中ほどの表 3-2 にあります可搬型SA設備のクライテリアの 22 センチが、十分低いところではありますが、ここでは 2 パターン目でここではということで地震随件事象として、
3:27:09	地下水が地表面に溢れた場合、状態プラス屋外タンク等の溢水が同時に発生した場合のアクセスルートの通行の影響を確認するということをしました。
3:27:19	最低 20 代 41 ページをご覧ください。
3:27:22	中ほどの浸水想定範囲はコメント踏まえまして見直しますが基本的に、アクセスルート上んにかかってますので、
3:27:31	図の通り評価地点をアクセスルート直上に設けて、
3:27:36	溢水伝播挙動解析の浸水深を下の図の通り時刻歴を貼りつけてございますが、基本的に 15 分後ぐらいにはピークにきて 25 銭、25 分後以降には、水位が下がってくるというような、
3:27:49	結果になってございます。結果的に看護体制設備のクライテリアの 22 センチは最大浸水深 21、22 センチは、
3:27:59	アクセスルート時点の浸水深の 21 センチを 2、7000 調達させた場合には、一時的に上回ることが、状態になりますけれども、
3:28:10	上の説明文章の下から 3 行目ですね、本解析では、屋外排水量による排水機能や敷地外への排水を期待していないことまた、事故対応時には水位低下後に可搬型SA設備が通行するため影響はないと。
3:28:23	ということで影響ないことを確認してございます。コメント 13 の回答は以上です。
3:28:29	はい、規制庁チギラれず、今の説明について確認する点ある方お願いいたします。
3:28:40	瀬野エザキですが、ここをですね。
3:28:43	私が最初に言った立坑の話、あとは鳥居が言ってるような話含めて、
3:28:50	実態的に、もう一度、
3:28:53	そこも含めてさ、再整理しても変わらないっていう。
3:28:57	状態が確認できた上で、説明をもう一度してもらった方がいいと思うんですがいかがですか。
3:29:05	中国の井浦です。はい十分承知しておりますまず浸水想定範囲がコメントいただいていますんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:12	ちょっとやり方については説明の仕方についてはこの方法になると思うんですが、また
3:29:17	浸水想定範囲を説明した上で再整理して、
3:29:21	ご回答いたします。
3:29:24	以上です。実際に
3:29:27	22センチプラス7センチ時に超過してしまうと、それがどのぐらいの時間体でっていうと、
3:29:33	非常に短く短い時間というのは、
3:29:36	理解しましたが多分、館木場佐藤順子っていうか、そこにおっちゃうんだと思うんですよね。
3:29:43	だから、すぐさまにはならないって話で、そういった実際の
3:29:49	再稼働時期の時点での話で話をしてもらって、基本的に、
3:29:55	多分、
3:29:57	そその申請が出た段階でまた粗相で、また新たにアクセスルートの話をしてもらうしかないと思うんですけど、2度手間になりますけど、
3:30:05	それでまた説明いただければと思います。以上です。
3:30:09	中国電力の伊原です。了解しました。はい。また再度説明いたします。
3:30:14	以上です。はい、木田です。それでは次、次の説明をお願いします。
3:30:21	中国電力の矢部清と郡さん。あと1件のコメント回答になります
3:30:26	コメント番号でいきますと、1、回答整理表1ページの一番下11番になります。
3:30:32	Aはコメント内容が地下水が10目に溢れた場合、1方面からのシントウ考慮しても、設計地下水8月地下水水位に影響がないことを説明することと、立てまして、
3:30:43	補足説明資料で言いますと42ページ、
3:30:46	ご覧ください。
3:30:49	はい。3ポツ3で設計地下水の影響についてということで
3:30:54	検討してございます。1番目なんですけど2行目から大半の地下水っていうのは1表面を流出し平たんに広がるっていうことを想定してますが、
3:31:04	地震による安里等のひび割れ等が、
3:31:08	頭から地下水、地下に地下水が浸透して、構造物の耐震化で用いる設計地下水に影響がする可能性があるため確認すると。
3:31:16	ということで下の図3-6をご覧ください。
3:31:21	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:23	まず揚水ポンプを含み地下水位低下設備はSs機能維持の設計です。地震後においても機能を維持する上で、全体でございます。
3:31:32	次、図面、図に書いてございますがまずまず屋外排水炉の側溝分が地震時で壊れて地下水が地表面に溢れて、
3:31:44	下に5センチウするのは矢印を引っ張ってますが、地下水の一部が埋戻し戸谷岩盤内に浸透すると。
3:31:52	という状況になると思います。
3:31:54	そのあとSs機能維持された
3:31:58	本部で、まだ吸い上げますので、
3:32:02	浸透した範囲の地下水の上昇には至らないと。
3:32:06	言ってまた構造物の耐震評価において保守的な価格設定している設計地下水を上回ることはないということを次に記載してございます。
3:32:14	コメント11の回答は以上です。
3:32:19	はい。規制庁吉良です。今の説明に対して、確認する点がある方、お願いします。
3:32:28	規制庁の江崎です。確か女川の方法では、基本的には、実際にその
3:32:35	揚水ポンプっていうかどれの位置まで水がそう、到達するまでには相当時間がかかるっていうような計算、簡単な計算ですけど、していて、
3:32:45	すぐさまに上がらないから問題ないという話だったと思うんですけど。
3:32:50	ただ、先行サイトとしながら
3:32:53	お答えをまた変えた理由と、何かあるんですか。
3:32:58	中国電力の伊原です。すいません先行サイトの、
3:33:01	やつを見てませんでした、
3:33:03	はい。
3:33:05	多分あるとかいった層以外の話は、話があって不確定性もあるから、それはそうではないとしたとしても、特に問題にならないんだよっていうことが算出できるのであれば、多分そちらも、
3:33:19	オダのそんな2園運営をし、植松と葛西をあんまり変わんないと思うんですよね太さ何と水性的な。
3:33:28	熱く状態っていうのは、すごい透水性が高いわけじゃないので、
3:33:32	多分同じような答えが出るんだと思うんで、その辺はちょっと、
3:33:36	差をオダを、どういう先行サイトですね、どういような、
3:33:40	答えになってるかっていうのを見据えた上で、割と具体的に誰が考えても問題ないねっていうようなストーリーを作っていた方がいいと思

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	います。でないといけないことを言ってしまうと、1個1個全部検証しなきゃいけなくなりますけども、
3:33:55	そういうそれよりは
3:33:57	簡単なロジックで問題ないということが説明できるのであればそれに越したことはないと思いますんで、ちょっと先行サイト、
3:34:04	もうちょっと情報もですね、入れた上でですね、島根としてはどういような子回答にした方がいいのか、もう一度ご検討ください。
3:34:14	中国年は、
3:34:18	中国電力の矢部さん。了解しました。ちょっと先行のものを見ながらですね実際、島根の場合は揚水井戸の周りはマンメイドがあったり、ドレンが岩盤内に設置してる状況で、若干埋戻しでもありますんで、
3:34:31	少しずつ先行を見ながら同じような、ちょっと考え方を整理してからまた再度、この設計地下水の影響についてはご説明いたします。以上です。
3:34:39	はい。では、今のコメント流基盤については、継続で、また再度説明いただくということでよろしく願います。
3:34:49	あと、
3:34:51	回答は以上でしょうか。
3:34:53	はい以上で、はい。地下水設計値割愛と地下水位低下設備の方は以上で終わります。はい、わかりました。適正化とか、特に大丈夫そうですかね。
3:35:06	はい。条例の電力や是正特に説明することはございません。以上です。
3:35:11	はい、わかりました。
3:35:12	江藤。本日、もう一つテーマを予定していたんですがちょっと時間の関係もありますので、また別日にですね設定させていただければというふうに思いますので、また調整してですねえと。
3:35:25	決めていきたいというふうに思いますのでよろしく願います。
3:35:28	それでは、本日のところで、全体的に何か、
3:35:33	確認する点があれば、はい、秋谷時田。
3:35:44	規制庁のハツリです。5番の資料で1点だけ確認させてください。
3:35:49	19ページをお願いします。
3:35:55	5番の資料になります。
3:36:01	ここの(1)のところ
3:36:04	機器故障及び技術。
3:36:08	基準規則の要求を踏まえた、
3:36:11	設計とするって書いてあるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:36:14	この技術基準規則、
3:36:17	というのは、具体的に、
3:36:22	これ、どういうふうに読めばいいのかなってというのがちょっとわからなくて、
3:36:27	具体的に何町に対する要求なのかなってというのがよくわからないんですけど。
3:36:32	これってというのは、
3:36:34	表 4 の中に
3:36:37	この白丸も含めた全部、
3:36:41	のことを言ってるんでしょうかどうぞ。
3:36:44	はい。中国電力の長田です。ちょっと網羅的といいますかここ非常用ディーゼル発電機のことを、
3:36:53	申し上げますので、技術基準規則って大きく振っていますけれども、安全重要度クラス 1 ということで、それを前提に、
3:37:04	はい。服部さんのご理解の通り、いろいろ、いろんな外部事象に対して、自然現象等に対して防護するようにですね、
3:37:16	設計しております。ですので大きく言ってしまうと技術基準規則では、安全施設として、安全重要度クラス 1 の設計多重性等を持たせた。
3:37:28	設計しておりますし、耐震 S クラス。
3:37:31	とかそういう設計をして、もともと非常用ディーゼル発電機はそのような設計をされているので、それが以前については、基本的には
3:37:42	前提になりますということでこのような記載をさせていただいております。以上です。
3:37:47	規制庁の服部です。はいわかりましたちょっともう何回も前回も聞いたんですけど、この表 4-12 の白丸が事象に対し、
3:37:57	して影響を受けないので、要求もないのかなあということで、うんと思ったりもしたんですけど今の矢野ナガタさんの説明で、
3:38:06	一応理解しましたまた聞くかもしれませんがよろしく願います私から以上です。
3:38:18	規制庁きれず、衛藤ほかに。
3:38:21	近づいていく設備関係で、
3:38:24	確認する点があれば、
3:38:35	はい。
3:38:36	では瀬川からは、今日は特にないということですので、中国電力側から何かありますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:38:54	はい、中国電力本社側特にございません。以上です。
3:39:02	はい、わかりました。よろしいですかね。
3:39:06	はい。
3:39:07	本日のヒアリングの方を終了いたします。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。